

2020年12月24日

記者会見

新型コロナウイルス感染症実態調査 (第3回)

調査結果の概要

【調査実施期間】 2020年11月18日～12月10日

【調査対象】 867病院

【調査対象期間】 2020年10月31日時点

【有効回答】 416病院（48.0%）

【地域別】	会員 病院数	回答 病院数	回答率 (%)
全 体	867	416	48.0
北 海 道	87	34	39.1
東 北	135	70	51.9
関 東	157	71	45.2
北 陸・信 越	88	49	55.7
近 畿・東 海	180	98	54.4
中 国・四 国	120	54	45.0
九 州	100	40	40.0

【種類・病床規模別】	会員 病院数	回答 病院数	回答率 (%)
全 体	867	416	48.0
一般病院	827	395	47.8
99床以下	250	78	31.2
100床台	202	100	49.5
200床台	87	46	52.9
300床台	118	61	51.7
400床台	73	48	65.8
500床以上	97	62	63.9
精神科病院	40	21	52.5
うち再検証要請対象病院 [※]	242	96	39.7

留意事項

- ① 設問により無回答があるため回答病院数が異なっている
- ② 表示されている桁以下を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある
- ③ 複数回答可の設問においては、%の合計が100%を超える場合がある

※ 当協議会調べ

再検証要請対象病院のうち下記にあげる18病院は含まれていない
既に診療所となった5病院、既に閉院となった1病院、12病院（公設民営化）

各種指定状況

対象期間：2020年10月31日時点

- 病床規模別にみると、「感染症指定医療機関」「新型インフルエンザ患者入院医療機関」「重点医療機関」は、病床規模に比例して高くなっている。

【種類・病床規模別】	回答 病院数	感染症 指定医療機関		新型インフルエンザ 患者入院医療機関		重点医療機関		協力医療機関		帰国者・接触者外来 の指定医療機関		診療・検査 医療機関※1		休日・夜間の電話相談体 制を整備した医療機関※2	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	148	35.6	182	43.8	177	42.5	182	43.8	268	64.4	270	64.9	58	13.9
一般病院	395	144	36.5	180	45.6	175	44.3	174	44.1	266	67.3	263	66.6	57	14.4
99床以下	78	2	2.6	6	7.7	5	6.4	25	32.1	29	37.2	55	70.5	14	17.9
100床台	100	23	23.0	32	32.0	21	21.0	45	45.0	71	71.0	70	70.0	14	14.0
200床台	46	17	37.0	24	52.2	24	52.2	14	30.4	34	73.9	33	71.7	5	10.9
300床台	61	27	44.3	37	60.7	41	67.2	32	52.5	47	77.0	44	72.1	11	18.0
400床台	48	30	62.5	32	66.7	33	68.8	27	56.3	38	79.2	28	58.3	7	14.6
500床以上	62	45	72.6	49	79.0	51	82.3	31	50.0	47	75.8	33	53.2	6	9.7
精神科病院	21	4	19.0	2	9.5	2	9.5	8	38.1	2	9.5	7	33.3	1	4.8
うち再検証要請対象病院	96	14	14.6	24	25.0	20	20.8	34	35.4	53	55.2	69	71.9	11	11.5

※1 診療・検査医療機関…インフルエンザ流行期に発熱患者等の相談・診察の体制を整備している医療機関

※2 土日・夜間の電話相談体制を整備した医療機関…発熱患者等からの土日祝日や夜間の相談電話を受ける医療機関

ただし、※1、※2ともに11月以降申請予定を含む

新型コロナウイルス感染症への対応状況①

対象期間：2020年10月31日までの間

- 病床規模別にみると、「発熱外来の設置」は400床未満で約70%となっており、「外来患者に新型コロナ患者あり」「新型コロナ患者の入院受入」「新型コロナ疑い患者の入院受入」「病棟・病室閉鎖の実施」は、概ね病床規模に比例して高くなっている。

【種類・病床規模別】	回答 病院数	発熱外来の 設置		外来患者に 新型コロナ患者あり		新型コロナ患者の 入院受入		新型コロナ疑い 患者の入院受入		病棟・病室閉鎖の 実施		リモート面会装置の 設置と実施	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	258	62.0	215	51.7	228	54.8	242	58.2	137	32.9	122	29.3
一般病院	395	256	64.8	213	53.9	223	56.5	238	60.3	136	34.4	118	29.9
99床以下	78	53	67.9	12	15.4	9	11.5	15	19.2	5	6.4	20	25.6
100床台	100	71	71.0	40	40.0	37	37.0	48	48.0	20	20.0	29	29.0
200床台	46	31	67.4	22	47.8	28	60.9	28	60.9	17	37.0	12	26.1
300床台	61	41	67.2	52	85.2	53	86.9	50	82.0	33	54.1	22	36.1
400床台	48	28	58.3	38	79.2	39	81.3	42	87.5	25	52.1	17	35.4
500床以上	62	32	51.6	49	79.0	57	91.9	55	88.7	36	58.1	18	29.0
精神科病院	21	2	9.5	2	9.5	5	23.8	4	19.0	1	4.8	4	19.0
うち再検証要請対象病院	96	64	66.7	32	33.3	26	27.1	30	31.3	15	15.6	22	22.9

外来への対応

- 帰国者・接触者外来の運営に係る支援制度がない。
- 動線や隔離が厳しく外来では対応ができないので、会議室等で対応している。
- 無症状者の外来受診の場合、PCR検査を実施した結果、陽性と判明した際に現場が困惑する。
- 外来は設置したが、症状があり処置が必要な患者は救急室内で処置することになり、救急患者との空間分離が困難である。 など

入院への対応

- プレハブの発熱外来や受入病床の開設のため、看護師を配置する予定であるが、小規模病院のため看護師数が少なく、配置するに
あたり苦慮している。
- 受入れをしている病院の負担が大きい。地域によっては重症の救急も全て当院のため、これ以上入院患者が増加すると、救急医療
に支障が出る。また、コロナ患者が増加すると地域の病院によっては、転院も受入れてもらえない。
- 即応病床は常に20床を確保しているが、ADL（日常生活動作）の低い患者が入院した場合、看護体制により一般病床を閉鎖し
て、コロナ症例に対応しなければならない場合がある。
- 陰圧室がなく、個室が少ないため、新型コロナ感染症患者の受け入れに1病棟を当てている。それに合わせ手術も休止する措置も
行っていたため、感染症患者が退院後も一般患者の入院が戻らず、経営的に苦しい状況が続いている。
- 他の入院患者と完全分離した病床確保ができず、療養・回復期リハビリテーションと同フロアの宿泊ドック居室を転用している状況。
- 親が陽性で入院する際、子供を預ける先がなく添い寝で入院させることもあるが、親の症状が悪化した場合、子供の預け先が課題。
- 陽性患者が一気に増え、ベッドコントロールが難渋している。また、陽性患者に対して多くの看護師が割かれ、他の一般病床を縮小せ
ざるを得ない状況が発生している。
- コロナ疑いのある措置入院を前提としていたが、実際は精神科病院、老人施設で発生したクラスター患者の受け入れが中心。
- 近隣の医療機関での検査体制が整ってきたため、陽性患者が発生すると、軽症であるにもかかわらず保健所への連絡をせずに、当院
に直接、医療機関から入院要請があることに困っている。 など

新型コロナウイルス感染症への対応状況③

病床の確保

対象期間：2020年10月31日時点

【種類・病床規模別】	回答 病院数	準備病床の 確保		即応病床の 確保		回答 病院数	回答病院の全病床数に占める 即応病床数		
		(病院)	(%)	(病院)	(%)		(全病床)	(即応病床*)	(%)
全 体	416	202	48.6	231	55.5	198	117,493	3,572	3.0
一般病院	395	197	49.9	223	56.5	191	112,451	3,552	3.2
99床以下	78	15	19.2	15	19.2	15	5,186	132	2.5
100床台	100	52	52.0	48	48.0	47	15,055	506	3.4
200床台	46	29	63.0	35	76.1	30	11,281	490	4.3
300床台	61	33	54.1	43	70.5	32	20,428	663	3.2
400床台	48	27	56.3	31	64.6	28	21,017	558	2.7
500床以上	62	41	66.1	51	82.3	39	39,484	1,203	3.0
精神科病院	21	5	23.8	8	38.1	7	5,042	20	0.4
うち再検証要請対象病院	96	37	38.5	35	36.5	29	13,722	263	1.9

※ 即応病床…最大フェーズ時の即応病床数

新型コロナウイルス感染症への対応状況④

施設整備

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	発熱患者用 テント・プレハブ等の 設置		動線・ゾーニングの確保 (間仕切り等の設置・ 工事の実施等)		陰圧機能の 付加工事の実施 (病室・空調整備)		簡易陰圧装置の購入 (HEPAフィルター付空 気清浄機等の設置)	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
		全 体	416	179	43.0	295	70.9	96	23.1
一般病院	395	178	45.1	284	71.9	94	23.8	211	53.4
99床以下	78	27	34.6	43	55.1	4	5.1	27	34.6
100床台	100	41	41.0	67	67.0	18	18.0	50	50.0
200床台	46	20	43.5	32	69.6	9	19.6	23	50.0
300床台	61	37	60.7	52	85.2	23	37.7	36	59.0
400床台	48	24	50.0	37	77.1	16	33.3	32	66.7
500床以上	62	29	46.8	53	85.5	24	38.7	43	69.4
精神科病院	21	1	4.8	11	52.4	2	9.5	1	4.8
うち再検証要請対象病院	96	32	33.3	55	57.3	12	12.5	40	41.7

※ 「施設整備」や「医療機器等」の各項目は、新型コロナウイルス感染症の対応により新たに整備・購入（リース・レンタルを含む）したもの

新型コロナウイルス感染症への対応状況⑤

医療機器整備

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	検査装置・キットの 購入		ポータブルX線 撮影装置の購入		生体情報 モニターの購入		人工呼吸器の 購入		ECMOの 購入		病室・前室とナースステーションを繋ぐモニター・タブレット等の設置	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	330	79.3	63	15.1	99	23.8	127	30.5	40	9.6	150	36.1
一般病院	395	319	80.8	63	15.9	99	25.1	127	32.2	40	10.1	146	37.0
99床以下	78	53	67.9	3	3.8	7	9.0	10	12.8	0	0.0	6	7.7
100床台	100	78	78.0	7	7.0	12	12.0	23	23.0	1	1.0	27	27.0
200床台	46	36	78.3	5	10.9	11	23.9	20	43.5	5	10.9	19	41.3
300床台	61	55	90.2	12	19.7	17	27.9	18	29.5	2	3.3	30	49.2
400床台	48	41	85.4	12	25.0	21	43.8	24	50.0	12	25.0	24	50.0
500床以上	62	56	90.3	24	38.7	31	50.0	32	51.6	20	32.3	40	64.5
精神科病院	21	11	52.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	19.0
うち再検証要請対象病院	96	72	75.0	6	6.3	9	9.4	17	17.7	1	1.0	15	15.6

※「施設整備」や「医療機器等」の各項目は、新型コロナウイルス感染症の対応により新たに整備・購入（リース・レンタルを含む）したもの

対象期間：2020年10月31日までの間

施設・医療機器整備に関する現状・課題等

施設整備

- HEPAフィルター付パーテーション等の納品が遅れている。
- HEPAフィルター付空気清浄機の納期が遅く、必要時に納品されなかった。簡易テント、簡易陰圧装置など業者からすぐに購入できない状況にあったため、各自治体で確保しておくなど、購入しやすい状況を作してほしい。
- 発熱外来診察室までの通路に間仕切りを設置しゾーニングしているが、車いす利用者・ストレッチャー利用者が通れず移送車両内での対応を強いられる。
- 発熱外来者用のため診察室の増設工事を行っているが、プレハブ等の簡易施設でないため、補助金（インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業）の対象にならず、持出しが発生。 など

医療機器整備

- 発注から納品までに時間がかかる機器があり、一般患者に使用する予定だった機器をやむを得ず感染者の治療に回すなど、対応に窮することがある。
- 早期に発注しても、慢性的な品薄又は欠品が続いており、納入時期に苦慮している。
- 購入したいコロナ対策の医療機器がなかなか手に入らない。 など

対象期間：2020年10月31日までの間

【 受入・未受入病院別 】	回答 病院数	自治体・保健所 との連携		他医療機関との 連携・機能分担	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	355	85.3	194	46.6
新型コロナ患者受入病院	238	221	92.9	138	58.0
新型コロナ患者未受入病院	178	134	75.3	56	31.5

自治体・保健所・他医療機関との連携・機能分担に関する現状・課題等

- 休日の連絡調整や臨時的診療の依頼の負担が大きい。
- 診療・検査医療機関、相談機能を担ってくれる市内医療機関が少なく、当院に患者が集中することが想定される。
- 夜間、休日対応できる医療機関が少ない。
- 感染拡大時は連携に支障をきたす場合がある。
- 他医療機関との連携・機能分担の必要性は感じるが、体制として整っていない。 など

新型コロナウイルス感染症疑い患者への検査の実施状況①

対象期間：2020年10月31日時点

【種類・病床規模別】	回答 病院数	画像検査		遺伝子増幅検査						抗原検査			
		CT検査		PCR法		LAMP法		その他※		抗原定性検査		抗原定量検査	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	311	74.8	262	63.0	89	21.4	17	4.1	253	60.8	55	13.2
一般病院	395	302	76.5	251	63.5	89	22.5	17	4.3	249	63.0	55	13.9
99床以下	78	41	52.6	34	43.6	1	1.3	1	1.3	35	44.9	5	6.4
100床台	100	72	72.0	58	58.0	12	12.0	0	0.0	67	67.0	12	12.0
200床台	46	36	78.3	30	65.2	14	30.4	0	0.0	29	63.0	7	15.2
300床台	61	55	90.2	46	75.4	19	31.1	3	4.9	43	70.5	11	18.0
400床台	48	41	85.4	34	70.8	16	33.3	5	10.4	36	75.0	8	16.7
500床以上	62	57	91.9	49	79.0	27	43.5	8	12.9	39	62.9	12	19.4
精神科病院	21	9	42.9	11	52.4	0	0.0	0	0.0	4	19.0	0	0.0

※「その他」には、比較的操作の簡単な「TRC法」や、PCR検査判定が短時間でできる「フィルムアレイ検査」があげられていた。

コメント

- LAMP法は、外来患者や緊急オペ前など、至急時や休日に行う。PCR法は、入院中の患者や術前スクリーニング、職員、接触者調査などに行う。
- LAMP法装置は3台体制としていて、多数検体を同時に検査でき、結果も35分でできるので、クラスター対応などに極めて有効である。
- 抗原定量は迅速性に優れ、機器操作も簡便でありRT-PCRとうまく組み合わせる事でよりよい活用ができる。
- 抗原定量検査の精度が向上したことから、まず抗原定量検査を実施する運用にしている。LAMP法：全身麻酔手術前検査（唾液を中心に）、発熱者外来（鼻咽頭）PCR法：緊急手術時LAMP法（唾液）の再検 など

新型コロナウイルス感染症疑い患者への検査の実施状況②

実施可能件数

対象期間：2020年10月31日時点

【種類・病床規模別】	遺伝子増幅検査（平均実施可能件数／1日）						抗原検査（平均実施可能件数／1日）			
	回答 病院数	PCR法 (件/1日)	回答 病院数	LAMP法 (件/1日)	回答 病院数	その他※ (件/1日)	回答 病院数	抗原定性 検査 (件/1日)	回答 病院数	抗原定量 検査 (件/1日)
全 体	194	21.2	69	29.6	15	20.3	169	19.0	42	55.8
一般病院	190	21.5	69	29.6	15	20.3	168	19.1	42	55.8
99床以下	23	7.8	0	—	1	10.0	21	8.9	5	39.0
100床台	40	9.6	7	28.3	0	—	49	11.1	8	21.5
200床台	26	12.9	11	23.4	0	—	19	13.8	3	73.3
300床台	34	24.1	16	20.9	3	19.3	32	30.4	11	54.8
400床台	27	29.4	12	30.3	4	21.3	24	24.1	7	46.6
500床以上	40	39.1	23	38.8	7	21.6	23	28.7	8	103.5
精神科病院	4	9.3	0	—	0	—	1	10.0	0	—

※ その他：TRC法、フィルムアレイ検査

新型コロナウイルス感染症疑い患者への検査の実施状況③

対象期間：2020年10月31日時点

【種類・病床規模別】	回答 病院数	検体採取法				検査実施場所			
		鼻咽頭ぬぐい液		唾液		院内実施		院外外注	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	350	84.1	170	40.9	278	66.8	241	57.9
一般病院	395	339	85.8	167	42.3	270	68.4	233	59.0
99床以下	78	48	61.5	23	29.5	30	38.5	38	48.7
100床台	100	89	89.0	35	35.0	61	61.0	61	61.0
200床台	46	41	89.1	21	45.7	32	69.6	30	65.2
300床台	61	58	95.1	30	49.2	51	83.6	41	67.2
400床台	48	44	91.7	25	52.1	39	81.3	29	60.4
500床以上	62	59	95.2	33	53.2	57	91.9	34	54.8
精神科病院	21	11	52.4	3	14.3	8	38.1	8	38.1

新型コロナウイルス感染症疑い患者数と陽性率

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	新型コロナ 疑い 患者数	10/31時点		新型コロナ 疑い 患者数	～5/31		新型コロナ 疑い 患者数	6/1～10/31	
			陽性者 (人)	陽性率 (%)		陽性者 (人)	陽性率 (%)		陽性者 (人)	陽性率 (%)
全 体	344	162,974	8,972	5.5	32,383	2,237	6.9	130,591	6,735	5.2
一般病院	331	162,840	8,968	5.5	32,359	2,234	6.9	130,481	6,734	5.2
99床以下	54	3,199	73	2.3	672	15	2.2	2,527	58	2.3
100床台	87	18,012	527	2.9	3,738	154	4.1	14,274	373	2.6
200床台	41	14,969	860	5.7	2,715	173	6.4	12,254	687	5.6
300床台	57	35,927	1,601	4.5	7,573	469	6.2	28,354	1,132	4.0
400床台	44	30,317	2,750	9.1	6,849	519	7.6	23,468	2,231	9.5
500床以上	48	60,416	3,157	5.2	10,812	904	8.4	49,604	2,253	4.5
精神科病院	13	134	4	3.0	24	3	12.5	110	1	0.9
うち再検証要請対象病院	77	14,731	700	4.8	3,170	206	6.5	11,561	494	4.3

新型コロナウイルス感染症外来患者数

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	新型コロナ 外来患者数*		～5/31		6/1～10/31	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全 体	201	6,080	100.0	1,464	100.0	4,616	100.0
一般病院	198	6,066	99.8	1,461	99.8	4,605	99.8
99床以下	13	48	0.8	16	1.1	32	0.7
100床台	38	381	6.3	107	7.3	274	5.9
200床台	26	1,004	16.5	222	15.2	782	16.9
300床台	47	1,392	22.9	353	24.1	1,039	22.5
400床台	33	1,409	23.2	355	24.2	1,054	22.8
500床以上	41	1,832	30.1	408	27.9	1,424	30.8
精神科病院	3	14	0.2	3	0.2	11	0.2
うち再検証要請対象病院	34	625	10.3	170	11.6	455	9.9

※ 外来で確認された新型コロナウイルス感染症患者数

新型コロナウイルス感染症入院患者数

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	新型コロナ 入院患者数		～5/31		6/1～10/31	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全 体	227	15,793	100.0	4,389	100.0	11,404	100.0
一般病院	220	15,767	99.8	4,386	99.9	11,381	99.8
99床以下	9	60	0.4	10	0.2	50	0.4
100床台	38	448	2.8	110	2.5	338	3.0
200床台	30	2,232	14.1	272	6.2	1,960	17.2
300床台	55	4,390	27.8	1,117	25.4	3,273	28.7
400床台	35	3,569	22.6	1,059	24.1	2,510	22.0
500床以上	53	5,068	32.1	1,818	41.4	3,250	28.5
精神科病院	7	26	0.2	3	0.1	23	0.2
うち再検証要請対象病院	28	1,491	9.4	391	8.9	1,100	9.6

新型コロナウイルス感染症重症度別入院患者数①

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	新型コロナ 入院 患者数	軽症		中等症Ⅰ		中等症Ⅱ		重症Ⅰ型		重症Ⅱ型		死亡		不明*	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全 体	227	15,793	6,765	42.8	2,188	13.9	1,394	8.8	263	1.7	150	0.9	219	1.4	4,814	30.5
一般病院	220	15,767	6,741	42.8	2,187	13.9	1,393	8.8	263	1.7	150	1.0	219	1.4	4,814	30.5
99床以下	9	60	50	83.3	2	3.3	6	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.3
100床台	38	448	371	82.8	36	8.0	17	3.8	0	0.0	0	0.0	5	1.1	19	4.2
200床台	30	2,232	1,242	55.6	551	24.7	239	10.7	92	4.1	1	0.0	16	0.7	91	4.1
300床台	55	4,390	1,748	39.8	349	7.9	269	6.1	31	0.7	12	0.3	30	0.7	1,951	44.4
400床台	35	3,569	1,855	52.0	325	9.1	299	8.4	10	0.3	20	0.6	21	0.6	1,039	29.1
500床以上	53	5,068	1,475	29.1	924	18.2	563	11.1	130	2.6	117	2.3	147	2.9	1,712	33.8
精神科病院	7	26	24	92.3	1	3.8	1	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
うち再検証要請対象病院	28	1,491	858	57.5	133	8.9	144	9.7	13	0.9	0	0.0	3	0.2	340	22.8

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている
入院中に症状が変わった場合、より重症度が高い方に計上しているので重複はない

病床群ごとの重症度別陽性患者の割合

例：500床以上の病院の陽性患者数（合計）のうち、軽症患者の割合 → $1,475人 \div 5,068人 \times 100 = 29.1\%$

新型コロナウイルス感染症重症度別入院患者数②

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	新型コロナ 入院 患者数	軽症		中等症Ⅰ		中等症Ⅱ		重症Ⅰ型		重症Ⅱ型		死亡		不明*	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全 体	227	15,793	6,765	100.0	2,188	100.0	1,394	100.0	263	100.0	150	100.0	219	100.0	4,814	100.0
一般病院	220	15,767	6,741	99.6	2,187	100.0	1,393	99.9	263	100.0	150	100.0	219	100.0	4,814	100.0
99床以下	9	60	50	0.7	2	0.1	6	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0
100床台	38	448	371	5.5	36	1.6	17	1.2	0	0.0	0	0.0	5	2.3	19	0.4
200床台	30	2,232	1,242	18.4	551	25.2	239	17.1	92	35.0	1	0.7	16	7.3	91	1.9
300床台	55	4,390	1,748	25.8	349	16.0	269	19.3	31	11.8	12	8.0	30	13.7	1,951	40.5
400床台	35	3,569	1,855	27.4	325	14.9	299	21.4	10	3.8	20	13.3	21	9.6	1,039	21.6
500床以上	53	5,068	1,475	21.8	924	42.2	563	40.4	130	49.4	117	78.0	147	67.1	1,712	35.6
精神科病院	7	26	24	0.4	1	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
うち再検証要請対象病院	28	1,491	858	12.7	133	6.1	144	10.3	13	4.9	0	0.0	3	1.4	340	7.1

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている
入院中に症状が変わった場合、より重症度が高い方に計上しているので重複はない

重症度ごとの病床規模別陽性患者の割合

例：500床以上の病院に収容された軽症患者の割合 → $1,475人 \div 6,765人 \times 100 = 21.8\%$

新型コロナウイルス感染症患者妊婦・小児・精神疾患患者数

対象期間：2020年10月31日までの間

実際に直面した困難事例

妊婦

- 重症例で産科的合併症の懸念からECMOの適応が問題となった。
- 陣痛や乳腺炎による発熱かCOVID-19によるものか鑑別が困難であった。出生後すぐに母子分離となるため間接的に新生児の様子がみられる対策が必要。 など

小児

- 小児1人での入院が困難であるため、親等と同じ部屋での入院。小児が陰性である場合もレスパイト入院となり、病室の調整が大変困難であった。 など

精神疾患患者

- 中等症以上の認知症の徘徊、入院長期化。知的障害に伴う希死念慮が強い場合の介入が難しかった。
- 個室の部屋から出てきてしまった。また、看護師を何度も叩いたりして対応に困った。 など

【種類・病床規模別】

種類・病床規模別	回答 病院数	妊婦の 新型コロナ 患者数		回答 病院数	小児の 新型コロナ 患者数		回答 病院数	精神疾患の 新型コロナ 患者数	
		(人)	(%)		(人)	(%)		(人)	(%)
全 体	31	93	100.0	112	645	100.0	42	287	100.0
一般病院	31	93	100.0	112	645	100.0	34	216	75.3
99床以下	0	0	0.0	2	9	1.4	0	0	0.0
100床台	1	3	3.2	13	104	16.1	1	2	0.7
200床台	5	26	28.0	12	108	16.7	4	18	6.3
300床台	0	0	0.0	23	59	9.1	5	14	4.9
400床台	7	8	8.6	22	149	23.1	9	32	11.1
500床以上	18	56	60.2	40	216	33.5	15	150	52.3
精神科病院	0	0	0.0	0	0	0.0	8	71	24.7
うち再検証要請対象病院	1	3	3.2	9	93	14.4	3	8	2.8

新型コロナウイルス感染症による院内感染の発生状況

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	院内感染が 発生した病院		~5/31	6/1~ 10/31
		(病院)	(%)	(病院)	(病院)
全 体	416	61	14.7	24	40
一般病院	395	60	15.2	24	39
99床以下	78	3	3.8	3	0
100床台	100	5	5.0	3	3
200床台	46	6	13.0	1	5
300床台	61	8	13.1	3	5
400床台	48	12	25.0	4	8
500床以上	62	26	41.9	10	18
精神科病院	21	1	4.8	0	1

※ 「~5/31」と「6/1~10/31」の両方の期間で院内感染が発生した病院があるため合計数が一致しない

新型コロナウイルス感染症による院内感染が及ぼした診療体制への影響

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	院内感染により 外来休止		院内感染により 病棟閉鎖		院内感染により外来 休止・病棟閉鎖	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	61	9	14.8	10	16.4	15	24.6
一般病院	60	9	15.0	10	16.7	15	25.0
99床以下	3	2	66.7	0	0.0	0	0.0
100床台	5	2	40.0	1	20.0	1	20.0
200床台	6	0	0.0	0	0.0	1	16.7
300床台	8	1	12.5	2	25.0	2	25.0
400床台	12	2	16.7	3	25.0	4	33.3
500床以上	26	2	7.7	4	15.4	7	26.9
精神科病院	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0

新型コロナウイルス感染症による院内感染者数

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	院内 感染者数	患者		医師		看護師・准看護師		看護助手		その他医療従事者		事務職員	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全 体	61	421	155	36.8	33	7.8	194	46.1	15	3.6	16	3.8	8	1.9
一般病院	60	419	155	37.0	33	7.9	193	46.1	15	3.6	16	3.8	7	1.7
99床以下	3	7	1	14.3	0	0.0	5	71.4	1	14.3	0	0.0	0	0.0
100床台	5	18	10	55.6	0	0.0	6	33.3	1	5.6	1	5.6	0	0.0
200床台	6	28	11	39.3	2	7.1	13	46.4	0	0.0	1	3.6	1	3.6
300床台	8	36	14	38.9	2	5.6	19	52.8	0	0.0	1	2.8	0	0.0
400床台	12	100	38	38.0	5	5.0	48	48.0	6	6.0	2	2.0	1	1.0
500床以上	26	230	81	35.2	24	10.4	102	44.3	7	3.0	11	4.8	5	2.2
精神科病院	1	2	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0

新型コロナウイルス感染症への対応のため新たに雇用した職員数①

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	新たに 雇用した 職員数	医師		看護師・准看護師		看護助手		その他医療従事者		事務職員	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全 体	64	244	35	14.3	46	18.9	28	11.5	17	7.0	118	48.4
一般病院	62	242	35	14.5	46	19.0	28	11.6	16	6.6	117	48.3
99床以下	10	32	10	31.3	2	6.3	1	3.1	8	25.0	11	34.4
100床台	12	43	2	4.7	9	20.9	2	4.7	1	2.3	29	67.4
200床台	6	28	11	39.3	3	10.7	4	14.3	0	0.0	10	35.7
300床台	12	50	6	12.0	7	14.0	11	22.0	2	4.0	24	48.0
400床台	10	44	1	2.3	13	29.5	8	18.2	2	4.5	20	45.5
500床以上	12	45	5	11.1	12	26.7	2	4.4	3	6.7	23	51.1
精神科病院	2	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0

人員確保・離職防止の具体的な方策・課題等

- 新型コロナウイルス感染症患者等対応をする職員に対し、手当を創設し、自宅に戻るのが不安な職員に対し宿泊施設を準備した。しかし、院内では、新型コロナウイルス感染症患者対応職員に限られ、業務負担に不公平感がある。また、本来業務や研修ができないなどモチベーションが低下している職員が一定数いる。
- 体調不良時の休暇の取得の促進や精神科リエゾンチームによる精神的ケアの実施など、身体的にも精神的にも過度な負担とならないよう配慮している。病院幹部から職員に対するメッセージを発信するなどして、職員のモチベーションの維持を図っている。
- 新型コロナウイルス関連病棟に勤務する看護師を交代制勤務とし、一部の職員に負荷がかからないよう配慮している。
- 新型コロナウイルス感染症対応看護師を適宜異動させ、負担を分散している。 など

新型コロナウイルス感染症への対応のため新たに雇用した職員数②

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	新たに雇用した職員数											
		職員数		医師		看護師・准看護師		看護助手		その他医療従事者		事務職員	
		常勤 (人)	非常勤※ (人)	常勤 (人)	非常勤 (人)								
全 体	64	42	202	9	26	21	25	1	27	0	17	11	107
一般病院	62	42	200	9	26	21	25	1	27	0	16	11	106
99床以下	10	3	29	1	9	1	1	1	0	0	8	0	11
100床台	12	4	39	2	0	0	9	0	2	0	1	2	27
200床台	6	5	23	1	10	2	1	0	4	0	0	2	8
300床台	12	13	37	4	2	7	0	0	11	0	2	2	22
400床台	10	15	29	1	0	9	4	0	8	0	2	5	15
500床以上	12	2	43	0	5	2	10	0	2	0	3	0	23
精神科病院	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

※ 非常勤には臨時を含む

新型コロナウイルス感染症の対応等を理由に退職した職員がいた病院数①

対象期間：2020年10月31日までの間

常勤・非常勤職員で退職があった病院

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	退職した職員が いた病院	
		(病院)	(%)
全 体	416	48	11.5
新型コロナ患者受入病院	238	41	17.2
新型コロナ患者未受入病院	178	7	3.9

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	医師		看護師・准看護師		看護助手		その他医療従事者		事務職員	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	1	0.2	28	6.7	11	2.6	20	4.8	14	3.4
新型コロナ患者受入病院	238	1	0.4	23	9.7	11	4.6	18	7.6	12	5.0
新型コロナ患者未受入病院	178	0	0.0	5	2.8	0	0.0	2	1.1	2	1.1

新型コロナウイルス感染症の対応等を理由に退職した職員がいた病院数②

対象期間：2020年10月31日までの間

常勤職員で退職があった病院

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	退職した職員が いた病院	
		(病院)	(%)
全 体	416	15	3.6
新型コロナ患者受入病院	238	14	5.9
新型コロナ患者未受入病院	178	1	0.6

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	医師		看護師・准看護師		看護助手		その他医療従事者		事務職員	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	416	1	0.2	12	2.9	1	0.2	3	0.7	3	0.7
新型コロナ患者受入病院	238	1	0.4	11	4.6	1	0.4	3	1.3	3	1.3
新型コロナ患者未受入病院	178	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0

新型コロナウイルス感染症の対応等を理由に退職した職員数①

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	退職した 職員数	医師		看護師・准看護師		看護助手		その他医療従事者		事務職員	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全 体	48	126	9	7.1	44	34.9	40	31.7	9	7.1	24	19.0
一般病院	48	126	9	7.1	44	34.9	40	31.7	9	7.1	24	19.0
99床以下	2	2	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100床台	5	7	0	0.0	2	28.6	3	42.9	0	0.0	2	28.6
200床台	5	42	9	21.4	16	38.1	11	26.2	2	4.8	4	9.5
300床台	15	44	0	0.0	11	25.0	18	40.9	3	6.8	12	27.3
400床台	7	13	0	0.0	7	53.8	3	23.1	0	0.0	3	23.1
500床以上	14	18	0	0.0	6	33.3	5	27.8	4	22.2	3	16.7
精神科病院	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

新型コロナウイルス感染症の対応等を理由に退職した職員数②

対象期間：2020年10月31日までの間

【種類・病床規模別】	回答 病院数	退職した職員数		医師		看護師・准看護師		看護助手		その他医療従事者		事務職員	
		常勤 (人)	非常勤※ (人)	常勤 (人)	非常勤 (人)								
全 体	48	41	85	4	5	18	26	12	28	3	6	4	20
一般病院	48	41	85	4	5	18	26	12	28	3	6	4	20
99床以下	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
100床台	5	0	7	0	0	0	2	0	3	0	0	0	2
200床台	5	12	30	4	5	7	9	0	11	1	1	0	4
300床台	15	17	27	0	0	1	10	12	6	0	3	4	8
400床台	7	5	8	0	0	5	2	0	3	0	0	0	3
500床以上	14	5	13	0	0	3	3	0	5	2	2	0	3
精神科病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

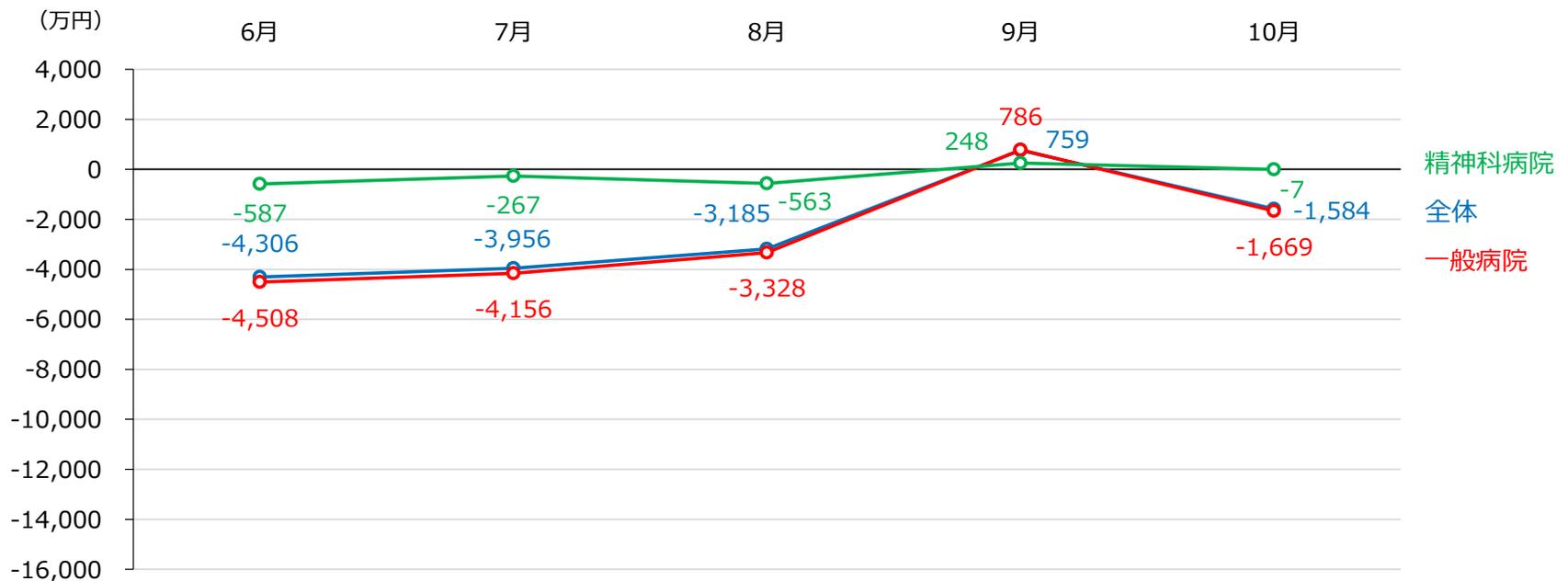
※ 非常勤には臨時を含む

医業収支の状況①

全体／一般病院／精神科病院

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

○ 1病院当たりの6月～10月の医業収支を前年同月と比較すると、9月に一時的にプラスになったが10月に再度マイナスに転じている。これには前年9月の医業収支の悪いことが反映していると考えられる。



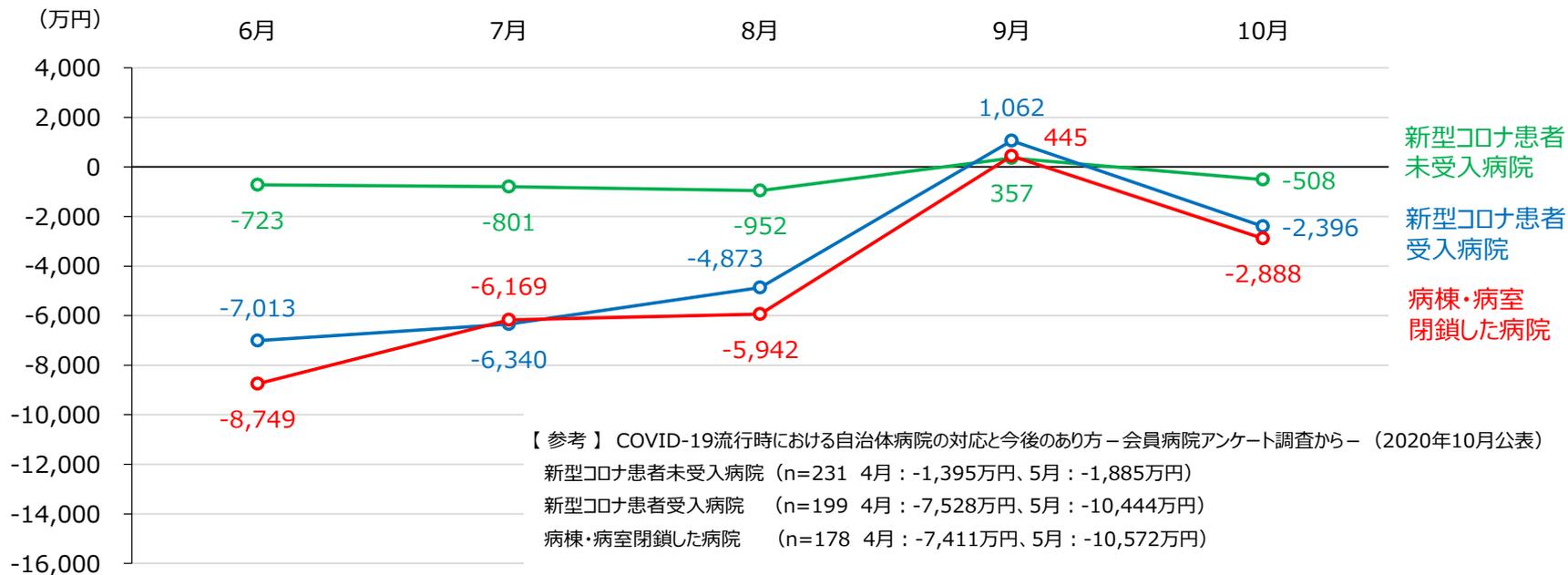
1病院当たり医業収支 (万円)	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	388	279	-8,906	3,146	2,790	-6,351	2,574	-13,212	-810	-396	-5,592	991
一般病院	368	281	-8,904	3,377	3,024	-6,475	2,790	-13,411	-779	-304	-5,688	1,120
精神科病院	20	238	-8,947	-1,098	-1,513	-4,071	-1,388	-9,535	-1,365	-2,076	-3,824	-1,395

医療収支の状況②

未受入／受入／病棟・病室閉鎖

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

- 1病院当たりの6月～10月の医療収支を前年同月で比較すると、9月に一時的にプラスになったが10月に再度マイナスに転じている。これには前年9月の医療収支の悪いことが反映していると考えられる。



1病院当たり医療収支 (万円)	回答病院数	平均病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	167	158	-6,651	48	200	-3,143	330	-7,374	-753	-752	-2,785	-178
新型コロナ患者受入病院	221	371	-10,610	5,487	4,746	-8,775	4,270	-17,622	-853	-126	-7,713	1,874
うち病棟・病室閉鎖した病院*	138	383	-13,696	3,489	4,446	-11,305	3,296	-22,445	-2,680	-1,496	-10,860	408

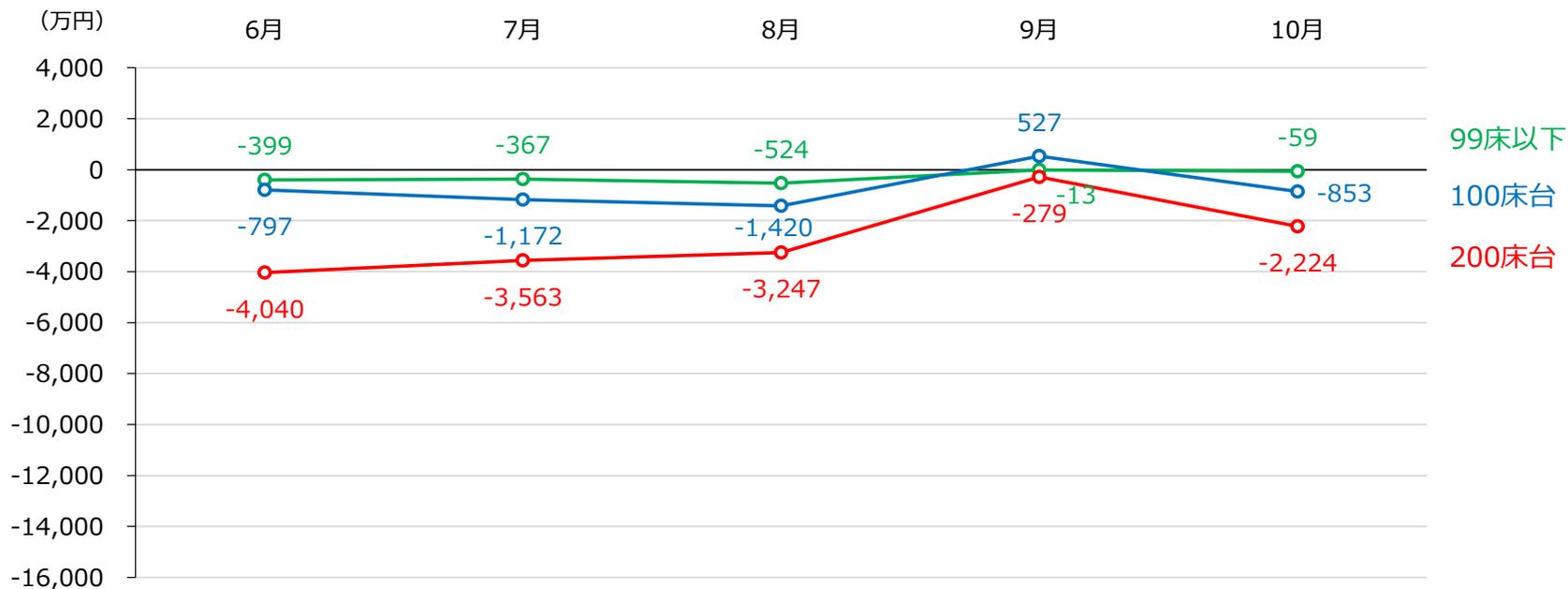
* 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

医業収支の状況③

病床規模／300床未満

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

○ 1病院当たりの6月～10月の医業収支を前年同月と比較すると、9月に一時的にプラスや減少幅が小さくなったが10月に再度マイナスに転じている。これには前年9月の医業収支の悪いことが反映していると考えられる。



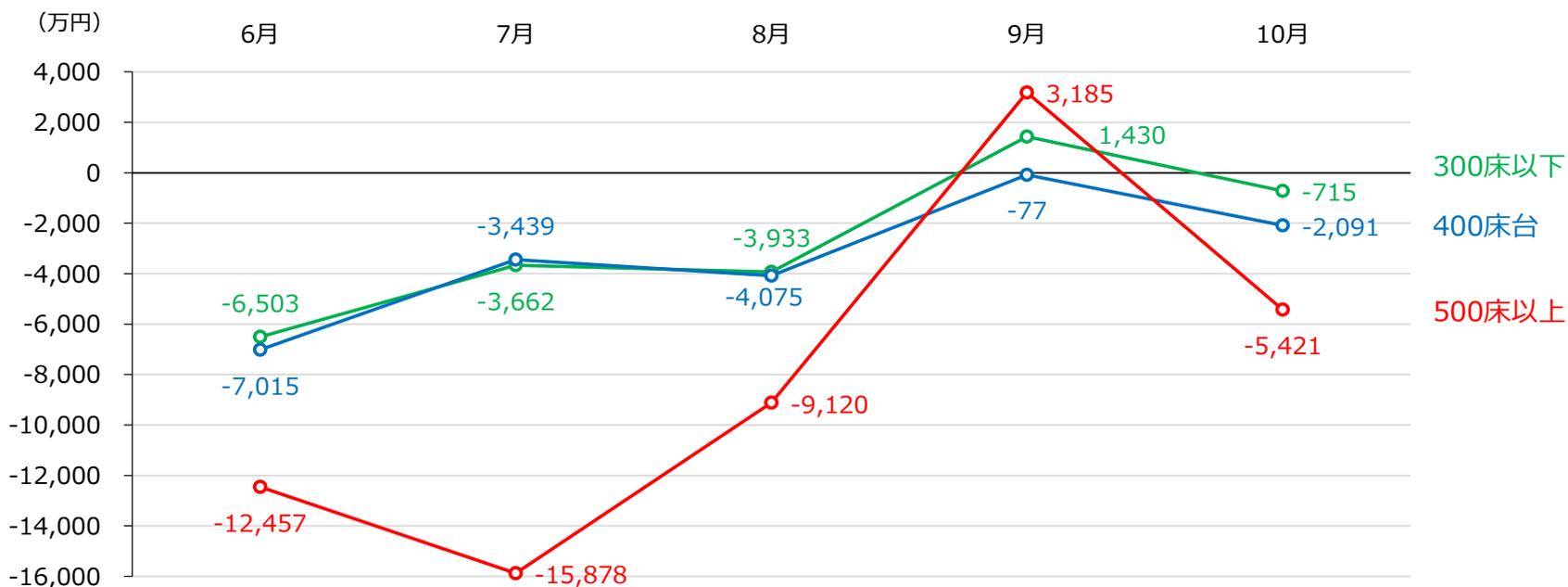
1病院当たり 医業収支 (万円)	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
99床以下	74	67	-3,000	-618	-401	-1,586	-703	-3,398	-984	-925	-1,599	-762
100床台	93	150	-5,134	124	352	-3,534	207	-5,931	-1,048	-1,068	-3,007	-646
200床台	42	245	-10,732	-1,128	-1,461	-5,420	-1,204	-14,772	-4,691	-4,709	-5,699	-3,428

医業収支の状況④

病床規模／300床以上

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

- 1病院当たりの6月～10月の医業収支を前年同月と比較すると、9月に一時的にプラスや減少幅が小さくなったが10月に再度マイナスに転じている。これには前年9月の医業収支の悪いことが反映していると考えられる。500床以上の減少幅が最も大きい。



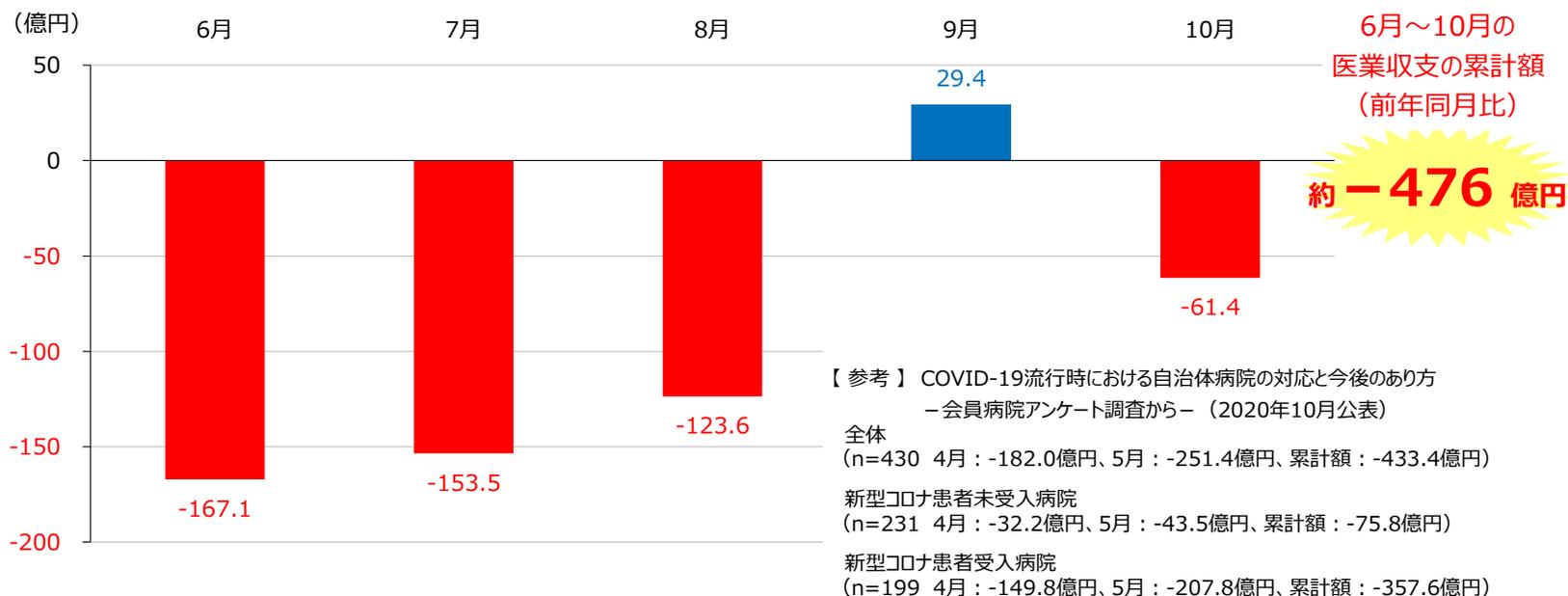
1病院当たり 医業収支（万円）	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
300床台	57	333	-10,115	1,192	1,270	-8,028	1,081	-16,619	-2,470	-2,663	-6,598	366
400床台	47	438	-15,073	3,113	3,904	-8,428	5,434	-22,089	-326	-172	-8,505	3,344
500床以上	55	632	-15,298	20,181	16,637	-15,551	14,416	-27,755	4,303	7,517	-12,366	8,995

医業収支の状況⑤

回答病院の収支の累計額

対象期間：2019/2020年6月～10月（前年同月比）

- 回答病院（388病院）の医業収支の累計額について6月～10月を前年同月と比較すると、9月に一時的にプラスになったものの10月に再度マイナスに転じており、6月～10月の累計額はマイナス476億円となっている。9月のプラスは前年9月の医業収支の悪いことが影響していると考えられる。



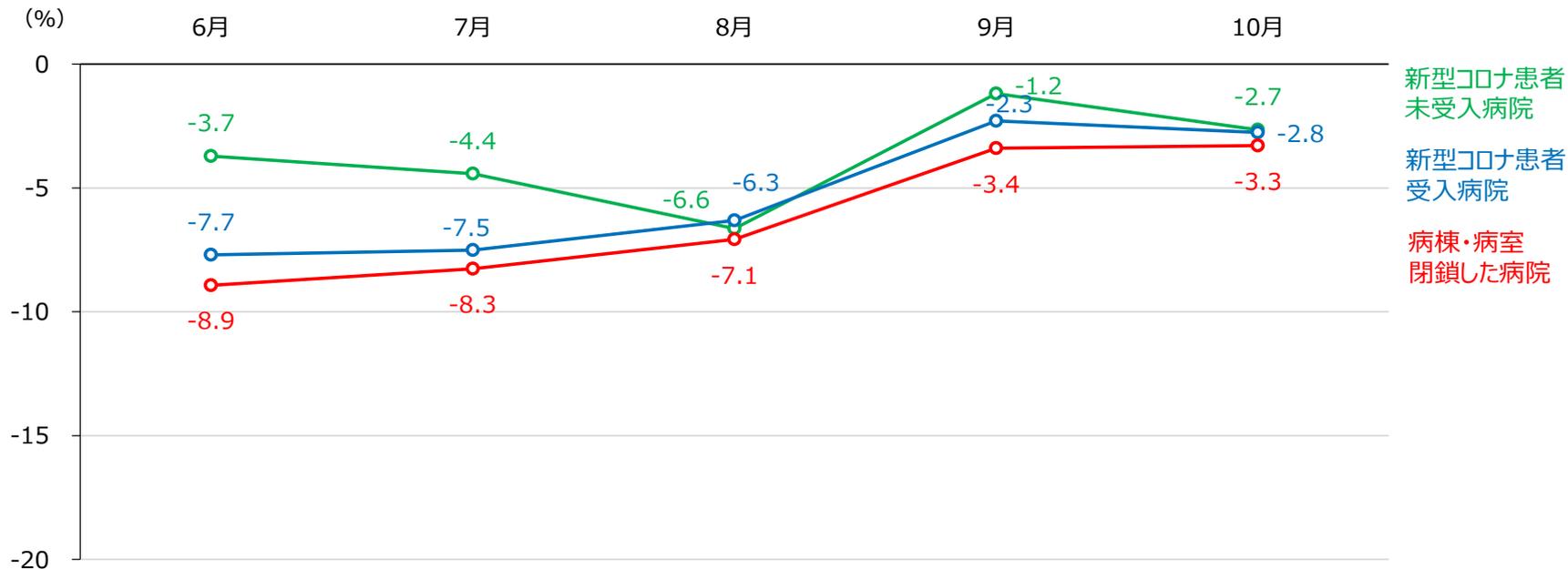
回答病院の医業収支の累計額（億円）	回答病院数	平均病床数	前年同月比					累計額
			6月	7月	8月	9月	10月	
全 体	388	279	-167.1	-153.5	-123.6	29.4	-61.4	-476.1
新型コロナ患者未受入病院	167	158	-12.1	-13.4	-15.9	6.0	-8.5	-43.9
新型コロナ患者受入病院	221	371	-155.0	-140.1	-107.7	23.5	-53.0	-432.3

※ 表示されている桁以下を四捨五入しているため合計が合わない場合がある

医業収益の状況

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の医業収益を前年同月と比較すると、9月に一時的に減少幅が小さくなったが10月は横ばいまたはマイナスに転じている。



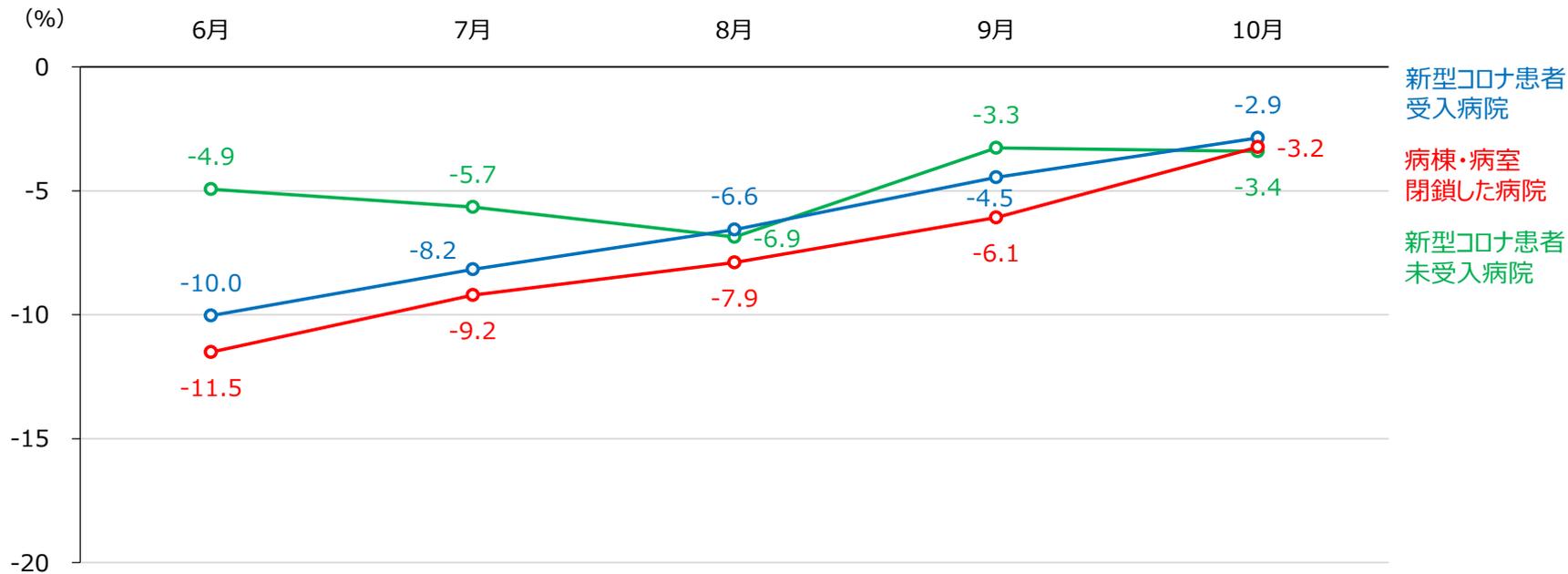
100床当たり医業収益（万円）	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	167	158	11,884	12,323	12,356	12,024	12,587	11,442	11,778	11,536	11,881	12,253
新型コロナ患者受入病院	221	371	19,134	20,039	19,611	18,809	20,138	17,661	18,533	18,373	18,378	19,581
うち病棟・病室閉鎖した病院※	138	383	19,597	20,374	19,836	18,990	20,252	17,847	18,690	18,432	18,344	19,584

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

入院収益の状況

対象期間：2019/2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の入院収益を前年同月と比較すると、緩やかに減少幅は小さくなっているが、なおもマイナスとなっている。



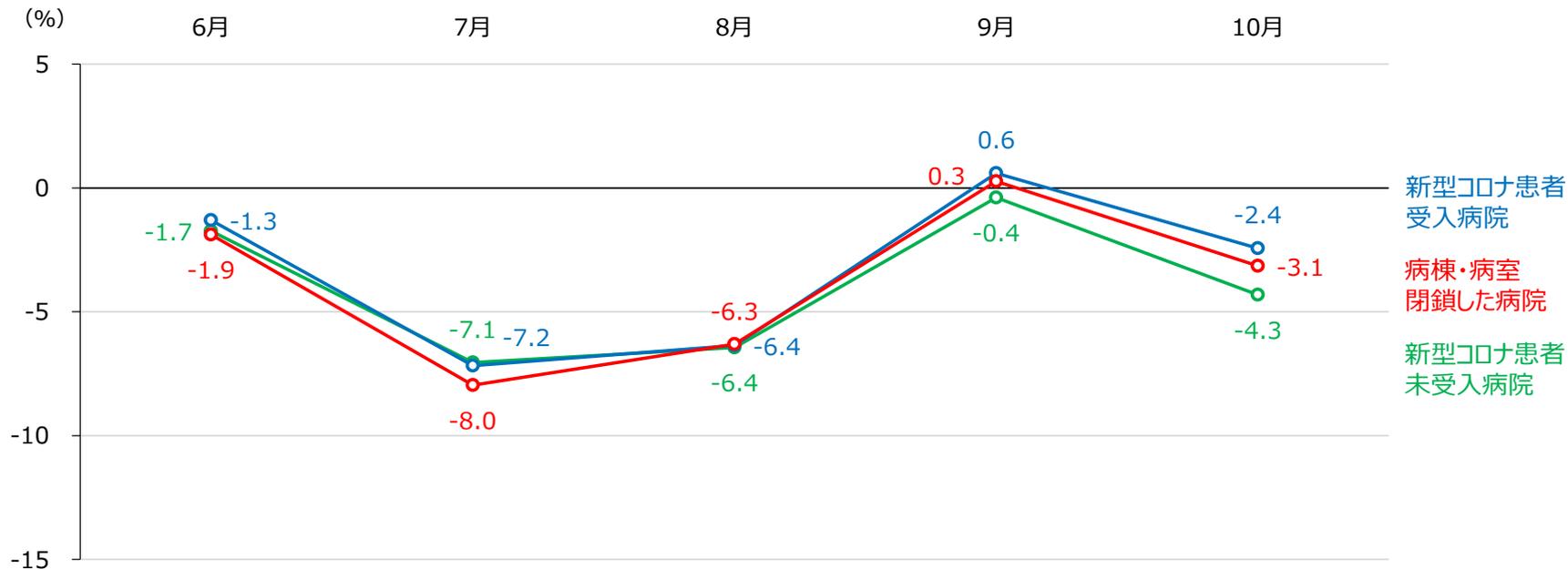
100床当たり入院収益（万円）	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	167	158	7,073	7,400	7,507	7,152	7,502	6,724	6,981	6,991	6,918	7,246
新型コロナ患者受入病院	221	371	12,498	13,161	12,876	12,344	13,114	11,245	12,086	12,030	11,793	12,737
うち病棟・病室閉鎖した病院※	138	383	12,894	13,490	13,133	12,530	13,228	11,410	12,247	12,096	11,768	12,799

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

外来収益の状況

対象期間：2019/2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の外来収益を前年同月と比較すると、9月に一時的にプラスや減少幅が小さくなったが10月に再度マイナスに転じている。



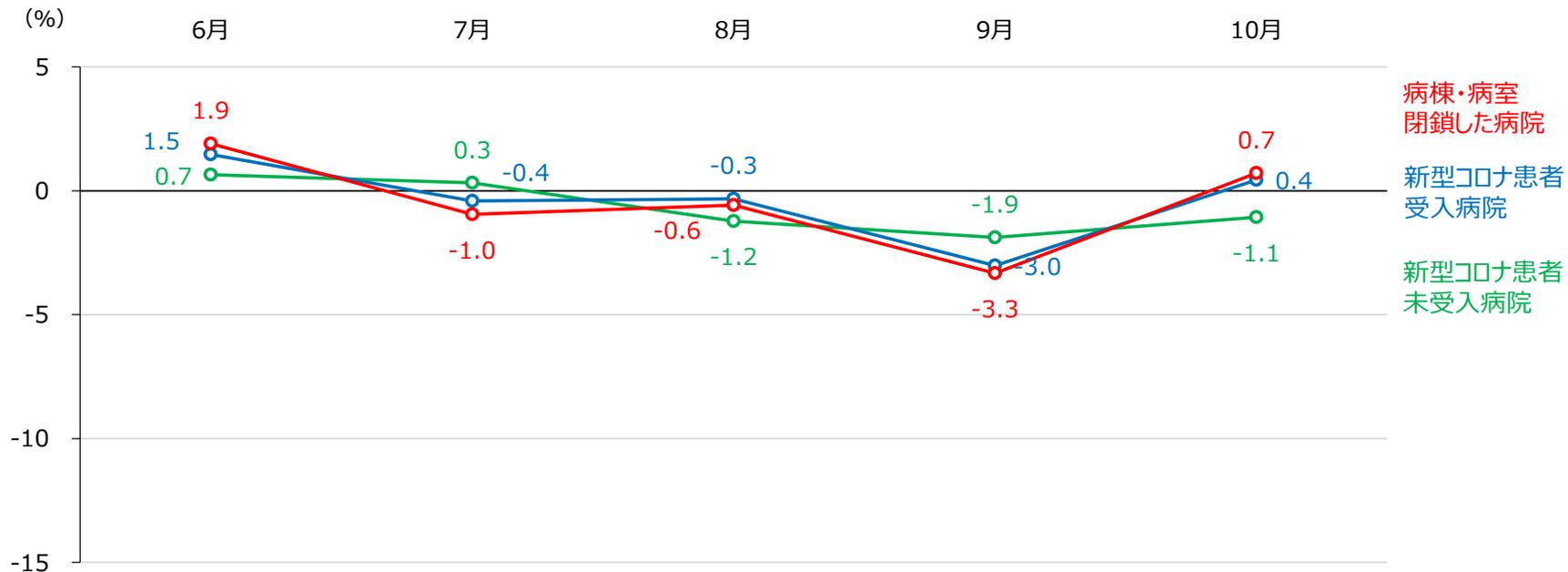
100床当たり外来収益（万円）	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	167	158	3,813	4,197	4,006	3,869	4,197	3,747	3,901	3,748	3,854	4,016
新型コロナ患者受入病院	221	371	5,590	6,255	5,964	5,722	6,244	5,517	5,807	5,585	5,757	6,091
うち病棟・病室閉鎖した病院※	138	383	5,623	6,278	5,932	5,665	6,176	5,516	5,778	5,558	5,679	5,982

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

医業費用の状況

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の医業費用を前年同月と比較すると、9月に一時的に減少したが再度増加に転じている。



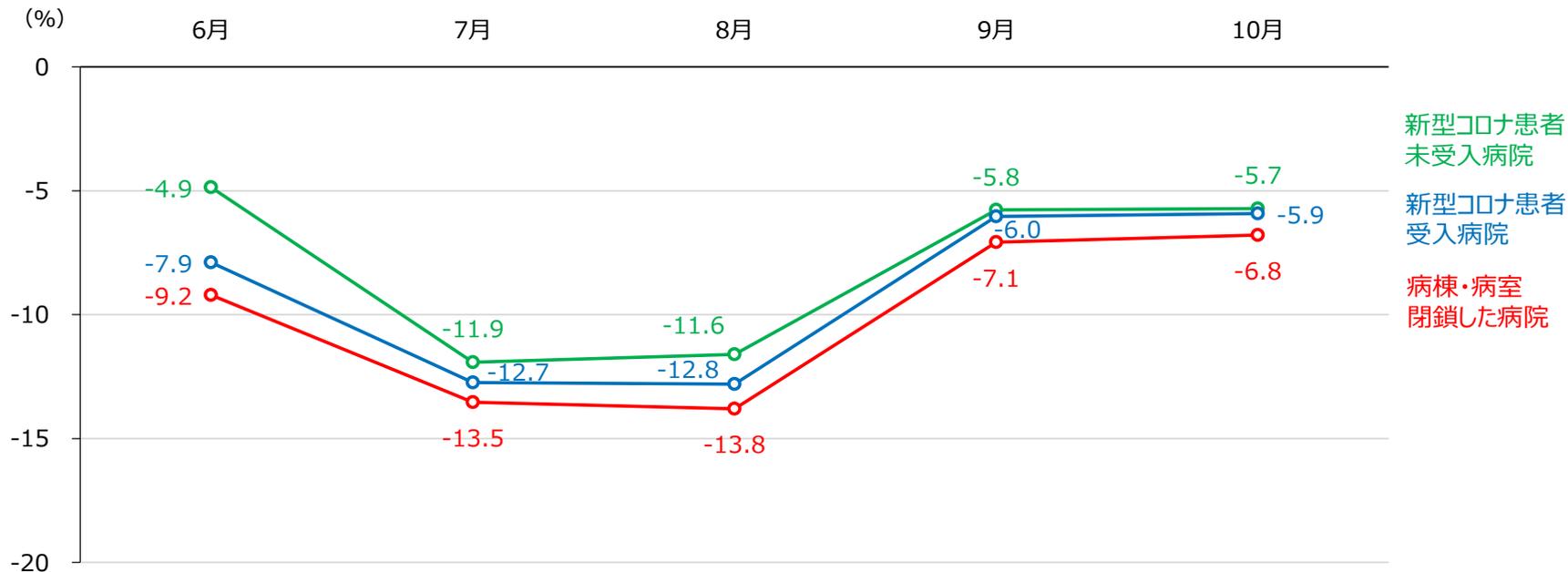
100床当たり医業費用（万円）	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	167	158	16,347	12,873	12,755	14,314	13,217	16,453	12,914	12,598	14,043	13,075
新型コロナ患者受入病院	221	371	22,248	19,243	18,907	21,297	19,492	22,573	19,163	18,845	20,654	19,577
うち病棟・病室閉鎖した病院※	138	383	23,424	20,014	19,445	22,183	19,921	23,869	19,822	19,331	21,444	20,063

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

外来患者延数の状況

対象期間：2019/2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の外来患者延数を前年同月と比較すると、9月に一時的に減少幅が小さくなったが10月は横ばいとなっている。



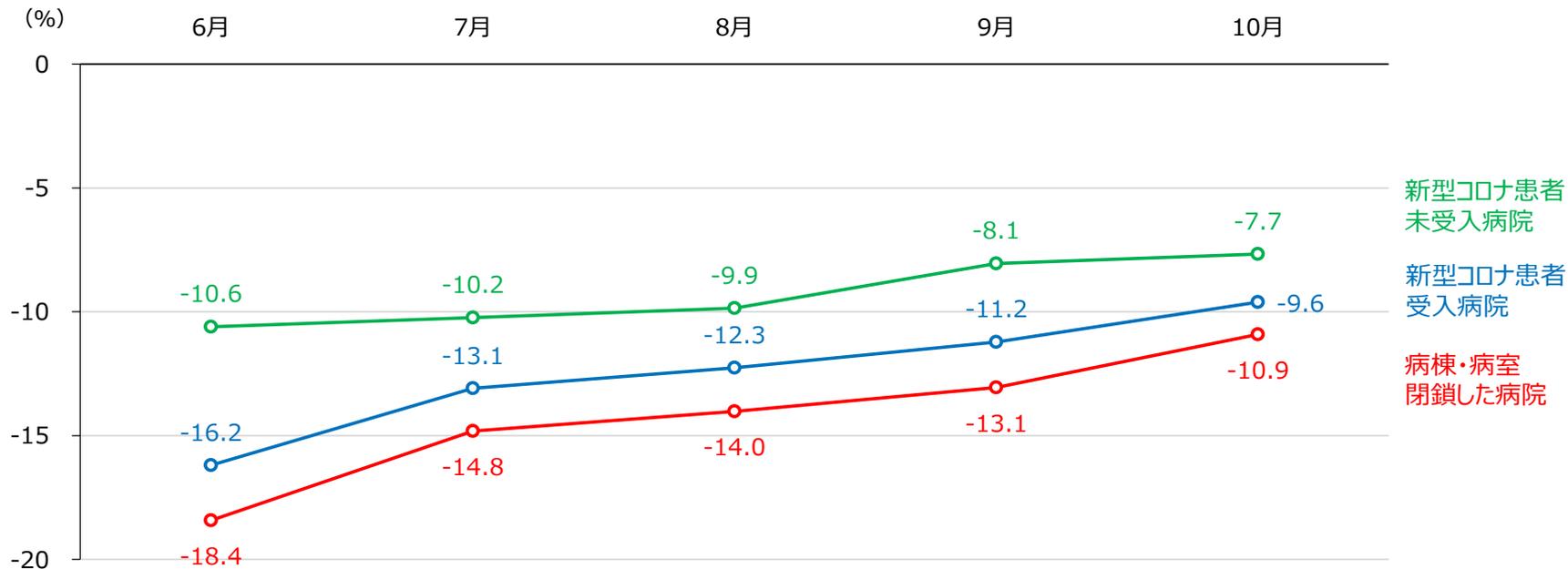
100床当たり外来患者延数 (人)	回答病院数	平均病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	176	162	3,514	3,964	3,781	3,628	3,946	3,343	3,492	3,342	3,419	3,720
新型コロナ患者受入病院	236	374	3,736	4,118	3,917	3,716	3,998	3,441	3,593	3,416	3,492	3,762
うち病棟・病室閉鎖した病院※	149	387	3,723	4,100	3,900	3,691	3,967	3,380	3,545	3,362	3,429	3,697

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

入院患者延数の状況

対象期間：2019/2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の入院患者延数を前年同月と比較すると、10月まで少しずつ減少幅が小さくなっているが、なおもマイナスとなっている。



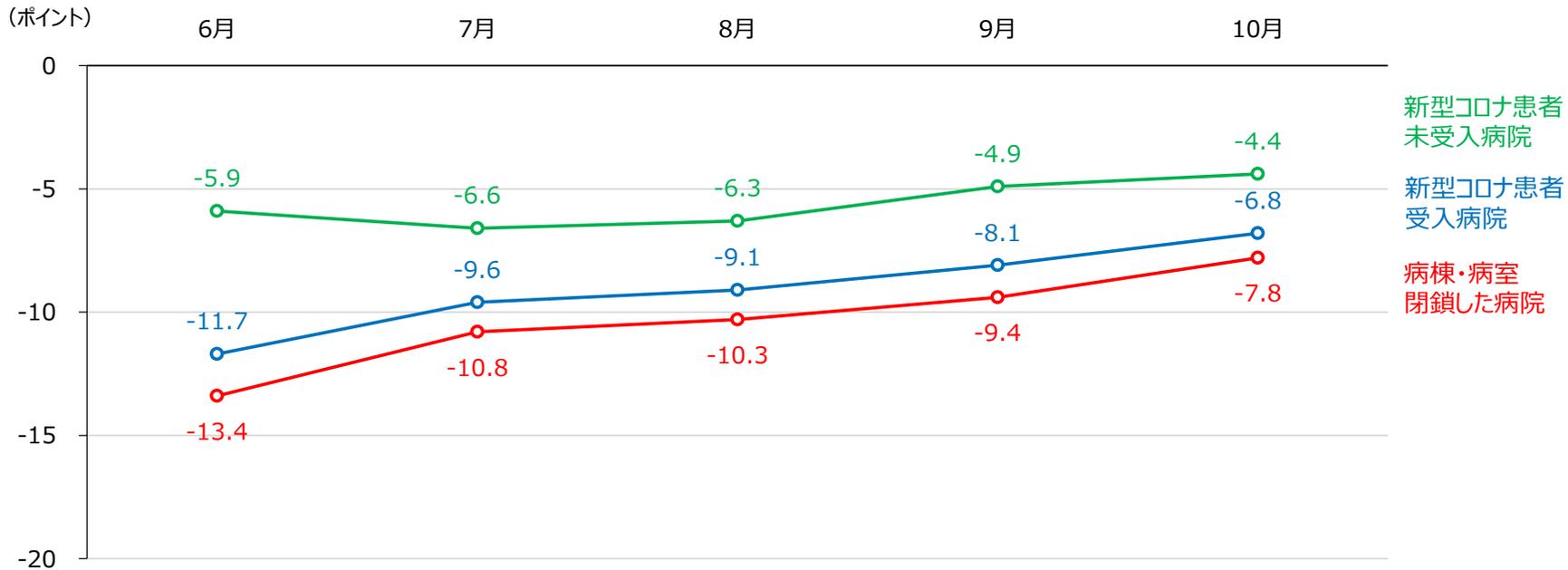
100床当たり入院患者延数（人）	回答病院数	平均病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	176	162	2,094	2,184	2,221	2,127	2,185	1,872	1,960	2,002	1,956	2,018
新型コロナ患者受入病院	236	374	2,250	2,327	2,334	2,222	2,298	1,885	2,022	2,048	1,973	2,077
うち病棟・病室閉鎖した病院※	149	387	2,266	2,350	2,351	2,230	2,308	1,848	2,002	2,021	1,939	2,056

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

病床利用率の状況

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の病床利用率を前年同月と比較すると、10月まで少しずつ減少幅が小さくなっているが、なおもマイナスとなっている。



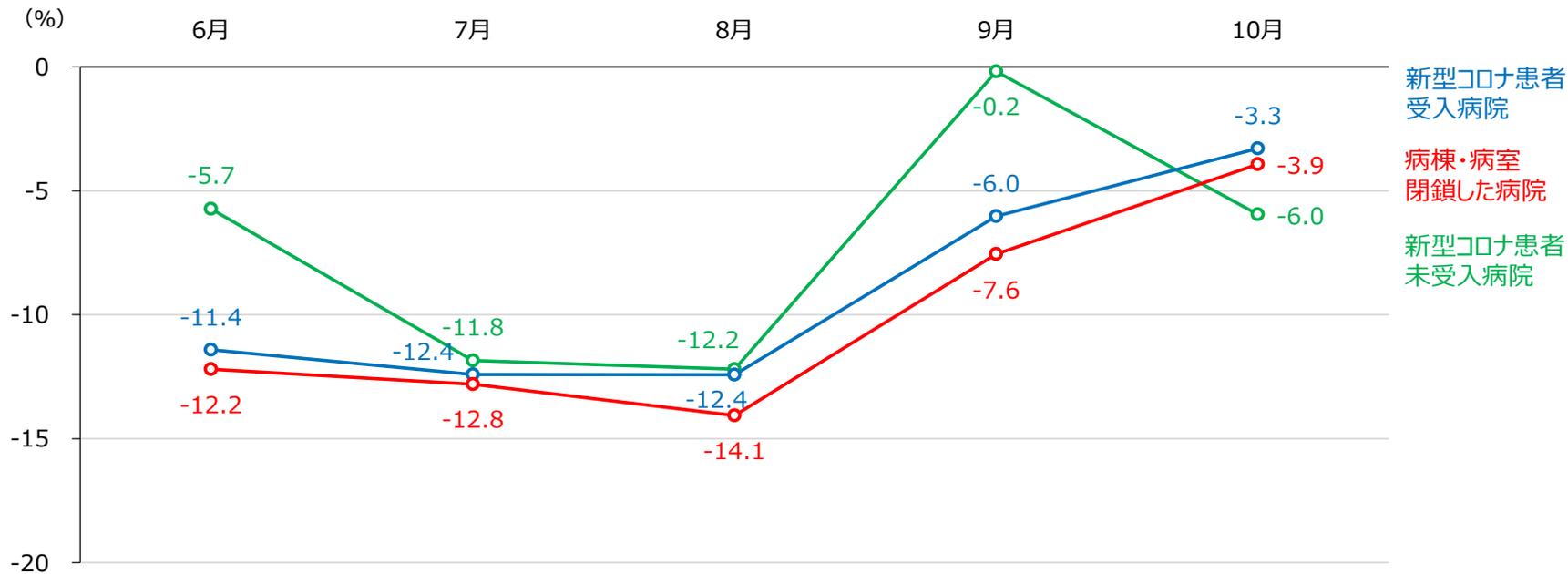
1病院当たり病床利用率 (%)	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	176	162	70.7	71.9	72.8	71.7	71.0	64.8	65.3	66.5	66.8	66.6
新型コロナ患者受入病院	235	374	75.8	76.0	76.3	75.2	75.3	64.1	66.4	67.2	67.1	68.5
うち病棟・病室閉鎖した病院※	148	387	75.8	76.1	76.1	74.9	75.2	62.4	65.3	65.8	65.5	67.4

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

手術件数の状況

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の手術件数を前年同月と比較すると、9月、10月は減少幅がやや戻ったものの、なおもマイナスが続いている。



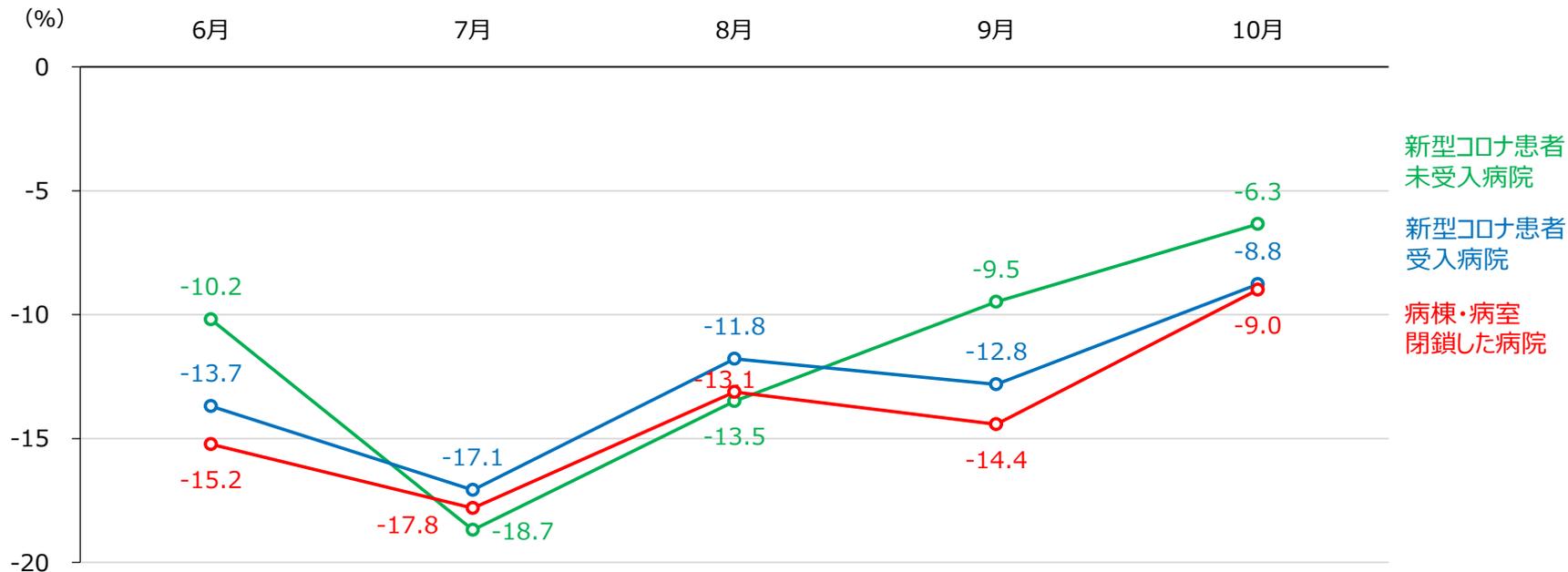
100床当たり手術件数（件）	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	119	187	34	39	36	33	38	32	34	31	33	36
新型コロナ患者受入病院	227	380	68	75	71	67	72	60	66	62	63	70
うち病棟・病室閉鎖した病院※	146	390	71	79	76	70	76	63	69	65	64	73

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

救急搬送数の状況

対象期間：2019/2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の救急搬送数を前年同月と比較すると、減少幅が小さくなっているが、なおもマイナスとなっている。



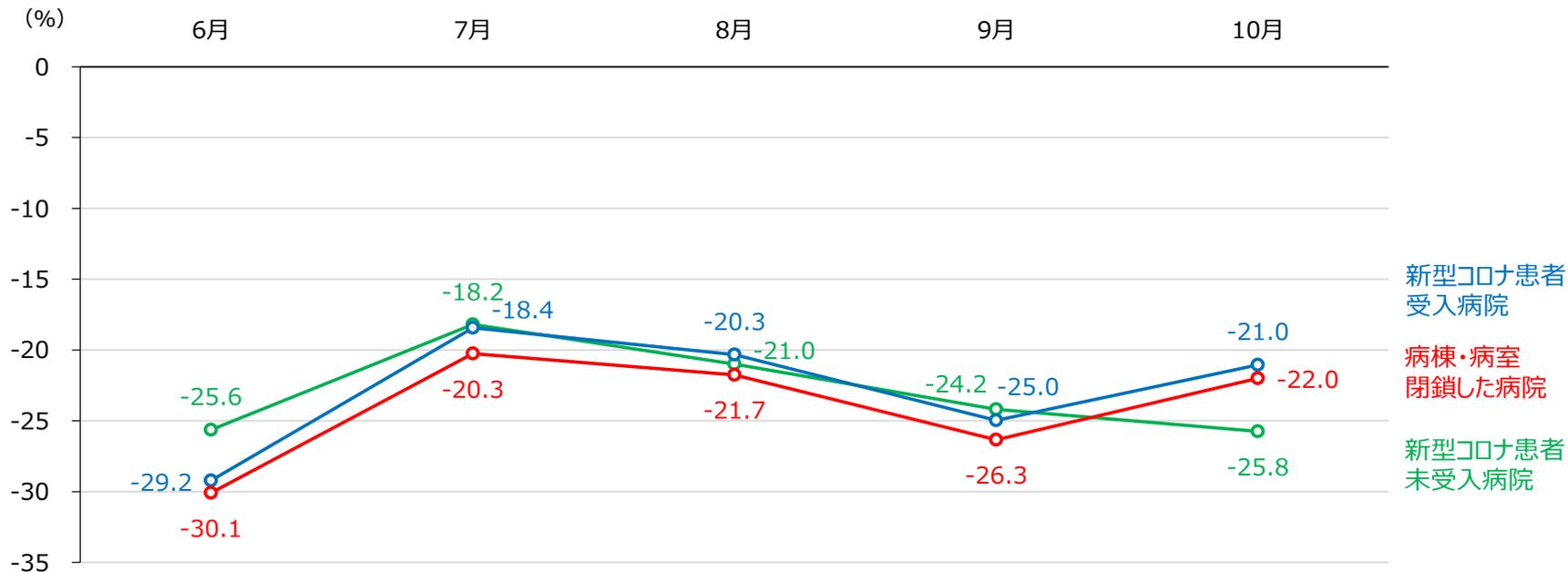
100床当たり救急搬送数（件）	回答 病院数	平均 病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	161	166	26	29	35	28	28	23	24	30	25	26
新型コロナ患者受入病院	232	377	61	68	75	64	63	52	56	66	56	58
うち病棟・病室閉鎖した病院※	146	391	64	71	78	68	67	55	59	68	58	61

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

救急搬送以外の救急患者数

対象期間：2019／2020年6月～10月（前年同月比）

○ 100床当たりの6月～10月の救急搬送以外の救急患者数を前年同月と比較すると、大きくマイナスとなっている。



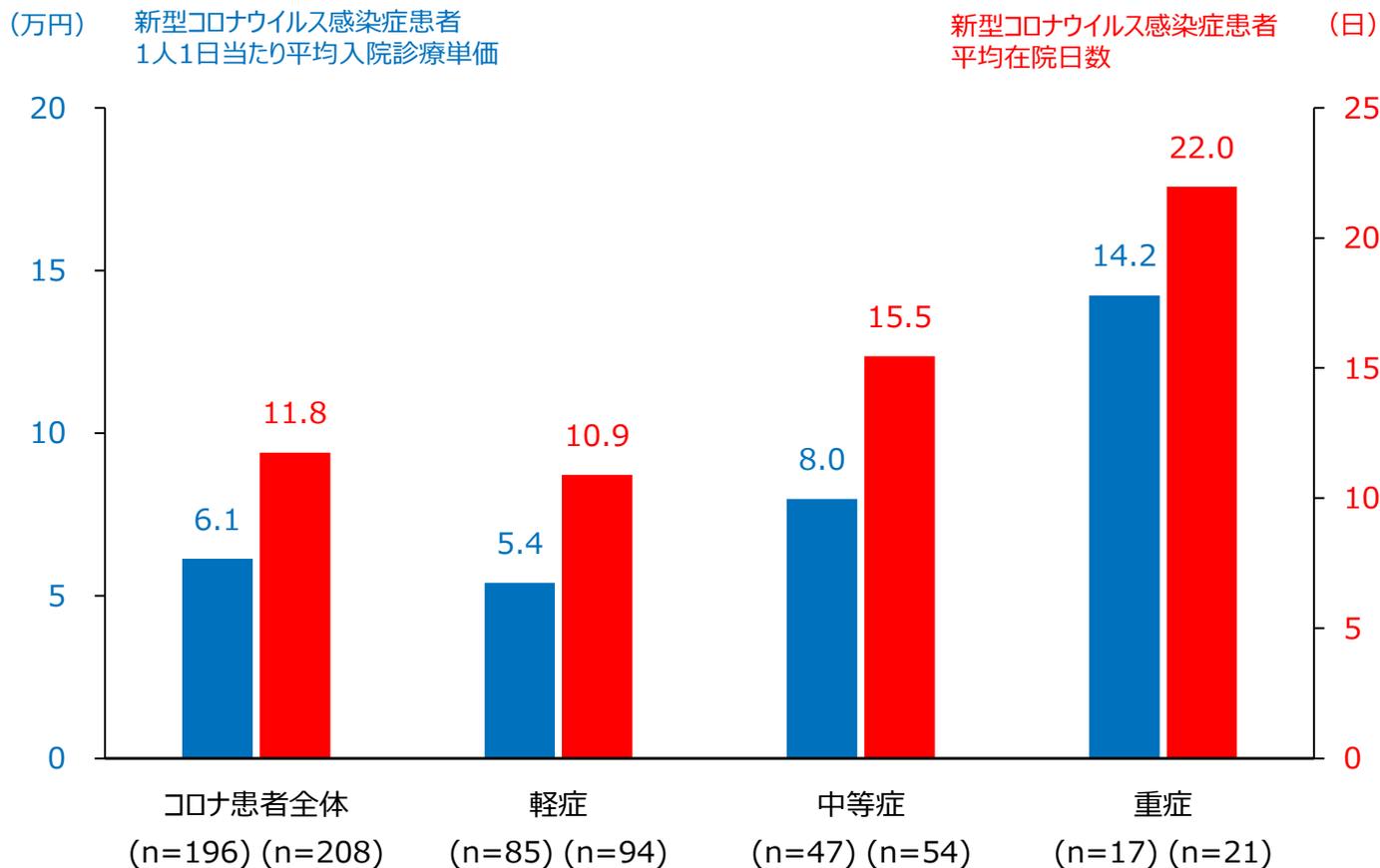
100床当たり救急搬送以外の救急患者数（人）	回答病院数	平均病床数	2019年					2020年				
			6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
新型コロナ患者未受入病院	154	166	94	107	131	110	98	70	88	104	84	73
新型コロナ患者受入病院	226	379	151	161	183	165	146	107	131	146	124	116
うち病棟・病室閉鎖した病院※	143	392	155	166	187	170	150	109	132	147	125	117

※ 未受入・受入病院のうち期間中一度でも病棟・病室閉鎖した病院

新型コロナウイルス感染症患者1人1日当たり平均入院診療単価・平均在院日数

対象期間：2020年10月31日までの間

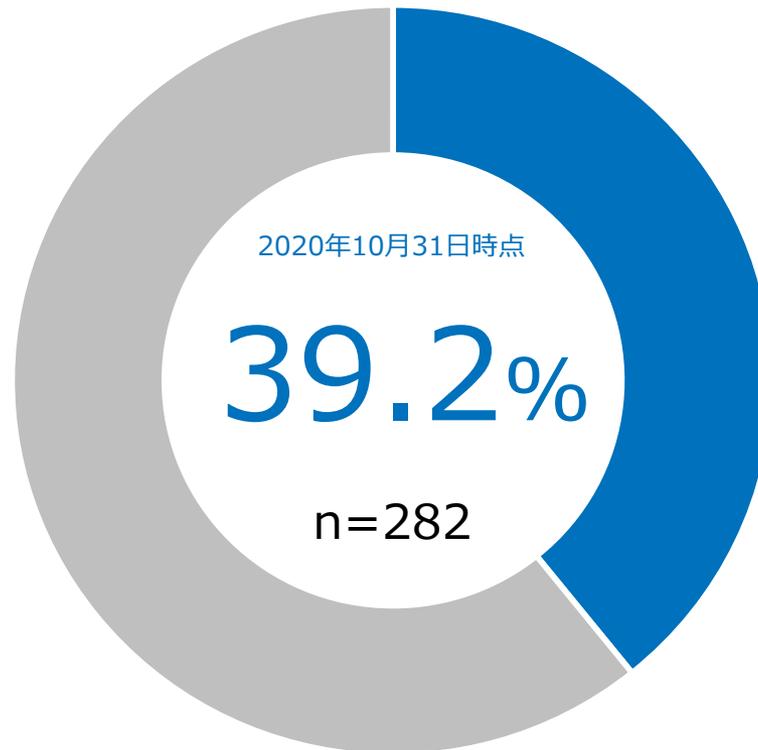
- 新型コロナウイルス感染症患者1人1日当たり平均入院診療単価は6.1万円で、軽症5.4万円、中等症8.0万円、重症14.2万円であった。
- 平均在院日数は11.8日で、軽症10.9日、中等症15.5日、重症22.0日となっている。



緊急包括支援交付金の請求・入金状況

対象期間：2020年10月31日までの間

- 慰労金を除く緊急包括支援交付金の請求・入金状況は、773億3,020万7,000円の請求に対して303億2,254万4,000円（39.2%）の入金であった。



※ 慰労金を除く

国による医療用物資の確保・配布の支援状況

対象期間：2020年10月31日時点

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	充足している		充足していない		その他*	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	409	171	41.8	224	54.8	14	3.4
新型コロナ患者受入病院	238	95	39.9	137	57.6	6	2.5
新型コロナ患者未受入病院	171	76	44.4	87	50.9	8	4.7

※「その他」には、現時点で充足しているものの医療用物資の購入価格は上昇しており、病院経営にじわじわと影響が出てくることへの懸念のほか、現在は充足しているが、消費も早く手袋・ガウンなど全体的に購入価格が上がっているため負担が大きい。流行が拡大しているなかで、将来的に購入が続けられるか不安などがあつた。

充足していない医療用物資

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	サージカルマスク		N95マスク		ゴーグル		フェイスシールド		長袖ガウン		エプロン		手袋		消毒用エタノール	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)										
全 体	224	75	33.5	97	43.3	50	22.3	38	17.0	60	26.8	40	17.9	161	71.9	58	25.9
新型コロナ患者受入病院	137	44	32.1	68	49.6	28	20.4	18	13.1	38	27.7	19	13.9	98	71.5	29	21.2
新型コロナ患者未受入病院	87	31	35.6	29	33.3	22	25.3	20	23.0	22	25.3	21	24.1	63	72.4	29	33.3

その他不足している主な医療用物資

- ・ サージカルキャップ、フットカバー、防護服、スワブ など

国による病床確保や設備整備の支援状況

対象期間：2020年10月31日時点

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	充足している		充足していない		その他※	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	370	196	53.0	108	29.2	66	17.8
新型コロナ患者受入病院	217	112	51.6	73	33.6	32	14.7
新型コロナ患者未受入病院	153	84	54.9	35	22.9	34	22.2

※「その他」には、現時点では評価できないのほか、病床確保に係る経費について、いまだ交付額が確定しないことから、現時点では判断できないなどがあった。

意見・課題等

- 重点医療機関以外で、陽性患者を受け入れている医療機関に対する感染症病床確保促進事業費補助金の単価設定が不十分。
- 重症患者の受入れができるように、ICUに陰圧装置を設置する工事費の補助が必要。
- 病床確保補助金について、医療機関の減収分を補うまでに至っていない。
- 医療スタッフが負う心理的負担や労力の提供は、対重症患者も軽症患者も変わらないことから、ICUやHCU以外の軽症患者用病床に対する補助単価の引き上げを希望。
- 帰国者・接触者外来に対応している施設は、疑い患者の検査結果が確定するまで陰圧個室で対応することになるため、陰圧個室を一定数確保しておく必要がある。確保のため使用出来ない陰圧個室に対する補助がない。
- 重点医療機関指定については、病床単位も対象にするとの方針転換があり単価増（51→71千円）となる見込みであるが、同様に空床確保を行うにも関わらず疑似患者受入病床の単価はそのままの状況である。
- 重点医療機関の指定要件として、コロナ疑い患者等の受入れを病棟単位で確保することが必須となっているが、診療体制や病棟の構造上、病棟単位での受入れが困難な医療機関であっても、都道府県からの要請により陽性患者の受入れを行っている場合は、重点医療機関として指定していただきたい。
- 病床確保に係る経費の補助については、ある程度の額の支援があるが、実際に新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた場合、入院医療費はかなり低額で、病床確保料との差額が大きく、患者を多く受け入れれば、病院としての収入が減少するという状況になっている。
- 体温検温装置や院内改修工事など新たな費用が発生しているが、補助対象外となっている。 など

国による診療報酬の特例的な対応の状況

対象期間：2020年10月31日時点

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	充足している		充足していない		重症度が限定されているため診療報酬の対象にならない		その他 [※]	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
		全	357	131	36.7	109	30.5	51	14.3
新型コロナ患者受入病院	212	72	34.0	84	39.6	25	11.8	31	14.6
新型コロナ患者未受入病院	145	59	40.7	25	17.2	26	17.9	35	24.1

※ 「その他」には、一般病棟で重症患者を管理する場合に、もう少し手厚い診療報酬（例えば入院料）にしてもらいたい。ICU等で管理する場合と同じ人員等が必要である。コロナ陽性患者を入院させた場合、ICUやHCUの入院基本料は評価されたが、一般入院料の算定施設の報酬が低いなどがあった。

意見・課題等

- 中等症以上の症例は救急医療管理加算が増額されているが、軽症症例は救急医療管理加算の対象とならず、当院の入院患者平均単価より低くなり、PPEや看護体制などに比して割に合わない。
- 当院は地域包括ケア病棟で新型コロナウイルス患者の受入れを行っており、当該患者が入院した場合、高度急性期並みの人員配置が必要となる。しかし、地域包括ケア病棟では入院料が2倍、3倍になるといった措置がないため、収支が合わない状態である。
- 重症患者が入室すると長期間の入室になることが多いため、特定入院料の算定可能な期間の縛りをなくして欲しい。
- 診療報酬の特例については、通知日以降の診療分が対象となるため、診療報酬特例通知前の診療分についても何らかの措置をしていただきたい。
- 当院は協力病院であるが陽性確定患者の入院受入れには至っていないので、直接的な補助はない。しかし、発熱患者受入を外来・入院で対応しており、ほぼ受入している病院と同等の労力を投入しているのに、見合った収入がない。
- 重症度が低い場合の診療報酬が病床確保補助よりも低いが、実際は手間がかかっているのに、不合理に思われる。
- 新型コロナ感染症患者で軽症の場合でも、特定集中治療室管理料等と同等の人員配置病棟で受け入れているため、特定入院料の算定を要望する。 など

国による救急・周産期・小児医療機関の院内感染防止対策の支援状況

対象期間：2020年10月31日時点

【 受入・未受入病院別 】	回答 病院数	充足している		充足していない		その他*	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	332	171	51.5	80	24.1	81	24.4
新型コロナ患者受入病院	204	104	51.0	61	29.9	39	19.1
新型コロナ患者未受入病院	128	67	52.3	19	14.8	42	32.8

※「その他」には、感染が拡大している状況なので、充足しているかしていないかの判断はできかねるとの回答のほか、当面の診療は可能な体制を整備しているが、感染防止対策に完全はないため、充足しているわけではないなどがあった。

意見・課題等

- 新型コロナウイルス感染症以外の小児の3次医療を集約して引き受けている医療機関への支援が不足している様に感じる。
- 小児など唾液での検査が困難な場合において、十分な陰圧の診察室がない。
- 当院は感染症指定医療機関、救命センター、周産期、小児と、すべての役割を担っている病院であり、すべて当院に来てしまうので、地域からはほぼ何の支援も得られていない。せめて、地域に周産期、小児を担当してくれる病院があればなど、1つの病院に一極集中しないような体制を望む。
- 金銭的支援は充分だが、地域連携においてコロナ感染が疑われる段階で受入が拒否されるケースが散見され、その結果基幹病院が受入せざるを得ず、負担が重くのしかかっている。
- 補助金に該当する項目は限られており、実費で調達をしなければいけない物品等が多々ある。特に小児、新生児、妊婦独自の機器が必要になるため、負担が多い。 など

国による地域医療機関の感染拡大防止等の支援状況

対象期間：2020年10月31日時点

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	充足している		充足していない		その他*	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	225	121	53.8	52	23.1	52	23.1
新型コロナ患者受入病院	121	64	52.9	29	24.0	28	23.1
新型コロナ患者未受入病院	104	57	54.8	23	22.1	24	23.1

※「その他」には、当面の診療は可能な体制を整備しているが、感染防止対策に完全はないため、充足しているわけではないとする回答や、交付金により空気清浄機等の機器を購入したが、日々状況が変化することを考慮すると十分とは言えないなどがあった。

意見・課題等

- 感染防止等の支援も必要だが、長期化や爆発的な流行となった場合の体制維持への支援を考えてほしい。
- 補助対象機器の納入が遅れている。
- 補助金の額が少なく、材料費の高騰や人件費の追加等に対応できていない。
- 補助金の額を上回る費用が発生している。
- 感染者受入病院以外の医療機関でも感染者との接触の可能性がある。家族への感染の恐れから帰宅を躊躇する医療関係者のための宿泊場所の確保などの支援をしてもらいたい。 など

国によるPCR・抗原検査実施の支援状況

対象期間：2020年10月31日時点

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	充足している		充足していない		その他※	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	361	204	56.5	93	25.8	64	17.7
新型コロナ患者受入病院	149	88	59.1	31	20.8	30	20.1
新型コロナ患者未受入病院	212	116	54.7	62	29.2	34	16.0

※「その他」には、病院職員（対コロナスタッフ）の検査費用の支援を求める回答のほか、PCR検査機器の補助があっても検査技師の確保が必要などがあつた。

意見・課題等

- 収束の兆しが見えない状況であることから、当初想定していない医療機器等の購入が必要となることもある。財政支援については、継続した事業として対応してほしい。
- 院内感染を防止するための院内PCR検査機器が即入手困難。
- 検査機器の導入のめどは立ったが、試薬の安定供給が見込めていない。
- 抗原検査は充足しているが、PCR検査は試薬の供給が少ないため、院内ではほとんど検査を行う事ができない。
- 場所やテント、プレハブなどの設備はレンタルなど費用を援助していただきたい。また、警備員の派遣などにもコストがかかる。
- 機器の購入等への支援はあるが、購入できる機器の精度と運用等で対応が難しい状況。機器を購入しても運用する人を育てる必要があり、通常業務に加えての業務で繁多な状況。
- 検査を外注することに対する補助等制度がない。 など

新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）の利用状況等

対象期間：2020年10月31日時点

利用状況

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	利用している		状況により利用している※1		利用していない※2	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	413	368	89.1	8	1.9	37	9.0
新型コロナ患者受入病院	236	221	93.6	2	0.8	13	5.5
新型コロナ患者未受入病院	177	147	83.1	6	3.4	24	13.6

※1 自治体独自のシステムを併用しているから

※2 自治体独自のシステムのみ利用しているから
新型コロナに対応していないから
今後利用予定 など

操作性

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	使いやすい		使いにくい		どちらとも言えない※3	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	379	100	26.4	75	19.8	204	53.8
新型コロナ患者受入病院	225	53	23.6	49	21.8	123	54.7
新型コロナ患者未受入病院	154	47	30.5	26	16.9	81	52.6

※3（操作性には問題はないが）
システムの反応が遅く時間がかかる（多数）
入力項目が多すぎて煩雑と感じる など

活用の状況

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	活用できている		活用できていない		どちらとも言えない※4	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	377	106	28.1	71	18.8	200	53.1
新型コロナ患者受入病院	223	61	27.4	46	20.6	116	52.0
新型コロナ患者未受入病院	154	45	29.2	25	16.2	84	54.5

※4 煩雑な事務量の割に医療機関にメリットがない
（多数）

意見改善点

- G-MISに報告している内容を県内の協力医療機関等でリアルタイムに共有できるようにしていただけるとありがたい。
- 業務が煩雑なためG-MIS及びHER-SYSとも1つのシステムの統合してもらいたい。 など

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の利用状況等

対象期間：2020年10月31日時点

利用状況

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	利用している		状況により利用している※1		利用していない※2	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	410	238	58.0	23	5.6	149	36.3
新型コロナ患者受入病院	234	152	65.0	9	3.8	73	31.2
新型コロナ患者未受入病院	176	86	48.9	14	8.0	76	43.2

※1 自治体独自のシステムを併用しているから

※2 自治体独自のシステムのみ利用しているから
保健所や県で一括入力しているから
今後利用予定 など

操作性

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	使いやすい		使いにくい		どちらとも言えない※3	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	297	34	11.4	125	42.1	138	46.5
新型コロナ患者受入病院	182	23	12.6	87	47.8	72	39.6
新型コロナ患者未受入病院	115	11	9.6	38	33.0	66	57.4

※3（操作性には問題はないが）

システムの動作不良（時間がかかる）
入力項目が多すぎて煩雑と感じる
2段階認証が必要なため運用が煩雑 など

活用の状況

【受入・未受入病院別】	回答 病院数	活用できている		活用できていない		どちらとも言えない※4	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	296	65	22.0	79	26.7	152	51.4
新型コロナ患者受入病院	181	43	23.8	58	32.0	80	44.2
新型コロナ患者未受入病院	115	22	19.1	21	18.3	72	62.6

※4 煩雑な事務量の割に医療機関にメリットがない
（多数）

改善 意見 等

- ・ クラークや事務職が入力できるようなシステムにしてほしい。現場の医師が入力作業で時間を取られている。
- ・ 業務が煩雑なためG-MIS及びHER-SYS、その他システムの一元化。 など

その他の医療現場からの声

対象期間：2020年10月31日時点

- 当院は医療過疎地域にあり、人材が不足している中で感染症指定医療機関と同等の医療体制を求められており、現場が混乱・疲弊している。感染症指定医療機関以外にも医療支援（人材・医療資源共に）を要望する。
- 外来、入院患者数の減少、医療機関への受診控えが顕著となっている。また健診やドック患者も大幅に減っている。診療材料が高騰し感染防止対策費用が増えている。特にサージカルマスクやプラスチック手袋の価格が上昇しており納品も遅れている。管財係も診療材料の確保、費用の面などで頭を悩ませている。また病院入口での発熱者のチェックなど新たな業務も増えており、人員も増やせず事務職員が交代で行っている。夜間、休日の緊急受付でも業務が増え負担が大きくなっている。
- 新たに生じた業務が非常に多く、その対応が困難で、スタッフ間で仕事量に大きな偏りができている。外来、救急外来における発熱患者対応により業務量が増加し、業務も煩雑化している。新型コロナ感染症対応のため外来患者を制限した場合の金銭的保証と、新型コロナ感染症患者の受け入れはリスクも伴うため、診療報酬のさらなる充実を要望する。
- 陽性患者を受け入れている医療機関においては、院内感染防止、従事する職員の不安解消のため、陽性患者に対応した従事者に対して定期的に新型コロナウイルス検査を行う必要がある。当該検査費用について公費負担措置をされるようお願いしたい。
- 帰国者・接触者外来において健康福祉事務所から紹介された濃厚接触者や発熱症状のある患者などを受入れるとともに、救急搬送や直接来院される患者で発熱や咳等の自覚症状がある患者の診療を積極的に実施している。その際、医師が新型コロナウイルス感染を疑い、かつ、肺炎等の症状により入院治療が必要と判断した患者は、PCR検査を行い、検査結果等による確定診断まで感染患者と同様に個室入院措置をしている。この為、HCU病棟の陰圧個室や一般病棟の個室など一般患者と区分した入院体制を確保する必要性があり、一般病床の使用制限を行い空き病床を確保しているため、通常使用できる病床が減少し、結果として入院患者の減少など経営に大きな打撃を与えている。疑い患者の受け入れに伴う損失についての補償制度を強く求めたい。
- 院内において、職員（委託職員等も含む）が感染陽性者となった際に、接触があったかを大搜索することとなるが、濃厚接触者や接触者へ院内にてPCR検査を実施する。その際に支出する検査費等を病院負担としているが、このような検査も補助の対象に含めていただくと、収益の落ち込みが高い不採算医療を提供している公立医療機関は相当助かる。やはり院内で働く職員は、自分が感染していないかを心配する事が多く、また陰性確定が出ることで休職（自宅待機）をさせずに勤務させ、医療サービス低下を防げると考えている。
- 新型コロナ感染による外来・入院患者の受診控えが起きており、医業収益が大きく減少している。新型コロナの診療や設備整備に対する財政支援のみならず、通常診療の減収分に対する財政支援もお願いしたい。
- 常勤医師1人体制のため疑い患者等が来た場合の対応が難しい（医師が感染した場合、直ぐに診療できる交代の医師がいない）。職員に感染者等が出た場合の交代できる人材を提供してほしい。看護師の退職希望者が出てきており、人員の確保ができない。新たな業務が増えており、医療職及び事務職とも疲弊している。外来患者の減少や材料費の高騰により経営状況への影響が大きく、運営費の支援が必要。
- 急変した患者の受入が困難で、コロナ病床以外の病床も使わざるを得ないところまできているが、マンパワー不足と病棟を丸ごとコロナ用にしてしまうと、コロナ以外の入院患者の受入が困難になってしまう為、難しい状況である。近隣地域でクラスターが発生しているが、受皿がないので、自宅で呼吸状態が悪い患者を家族が見ている状況である。春以降、過去にないほど看護職の退職が続いている。
- 新型コロナウイルス感染症患者が増加し、国公立病院での人員確保に限界を感じる。現実的な民間病院の受入れ協力を期待したい。
- 公立病院の役割としてコロナ入院受け入れを行っていたが、人員配置に課題があり、一般病床にコロナ患者を入れることができず、療養病床にて入院受け入れを行った。その結果、空床補償が受けることができなかったため大きな損失となった。今後もコロナの感染拡大が懸念されるため、当院は療養病床で受け入れることとなるので、空床補償の適用を療養病床にも拡大していただくことを要望する。 など